Let Language Be Your Wings To The World

～言葉を究めて世界へはばたく～

大阪大学

外国語学部

OSAKA UNIVERSITY School of Foreign Studies

2017

言葉を究めて 世界へはば

外国語学部長あいさつ

外国語学部の起源は、大阪の実業家・林蝶子女史の寄付金をもとに、1921年に創設された「大阪外国語学校」に遡ります。次ページの「外国語学部とは」にあるように、その後、変遷を経て、現在では、大阪大学外国語学部として、国立大学法人の総合大学の中では唯一の外国語学部となっています。

このような歴史と伝統を有する外国語学部では、表紙にある「言葉を究めて世界へはばたく（Let Language Be Your Wings To The World）」、および「言語を通して文化を学び、文化を通して言語を学ぶ（Culture Through Language, Language Through Culture）」をモットーとして掲げ、国際社会で通用する人材の育成に取り組んでいます。

最近、「グローバル人材の育成」という言葉を耳にすることが多くなりました。「グローバル人材の育成」とは、要するに、高度な異文化理解能力や鋭い国際感覚、優れた言語能力を有するとともに、主体性や積極性・協調性や柔軟性・使命感を併せ持った人材を育成するということです。

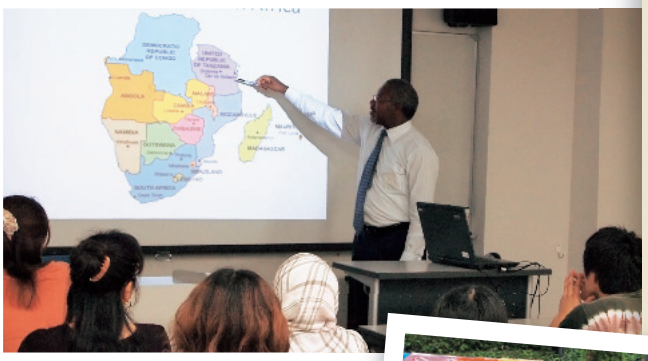
「グローバル人材の育成」というと何か新しいもののように感じられるかもしれませんが、その理念は、上記のモットーに集約されている学部理念、つまり言語を通じて外国に関する深い理解を有する有為の人材を養成するという理念と軌を一にするものです。

外国語学部の特色の一つに、学生の多くが強い海外志向を持っていることがあげられます。大阪大学には、大学間の交流協定がいくつもありますが、外国語学部の学生は、交流協定に基づく学生派遣にきわめて積極的に応募しています。その他にも、毎年数百人規模で、海外留学や語学研修に海外に出かけています。

言語を習得し、その地域の文化を学ぶことは、「言うは易く行うは難し」の典型ですが、皆さんも是非、言葉を究めて世界へはばたき、言語を通して文化を学び、文化を通して言語を学んで下さい。

大阪大学 外国語学部長　**東　　明彦**

たく



外国語学部とは

私たちがこの地球上で共存していくためには、さまざまな言語文化圏に暮らす者どうしがお互いの異なる点を理解し、その存在を尊重しあうことが大切です。

そのためには、私たち外国語学部は、世界のさまざまな言語を究めること、そしてそれを通して、各地域の文化や社会を深く理解することが必要であると考えています。このような理念にもとづき、外国語学部は、世界各地域の言語とそれを基底とする文化全般について教授し、それを通して、世界各地域の言語・文化・社会に関する深い理解を有し、かつ国際的な活動に必要な幅広い知識と高い教養を備えた人材を養成することを目標としています。

外国語学部の原点は、1921年大阪市上本町に設立された大阪外国語学校にあります。同校は、1949年国立学校設置法施行にともない、外国語学部の前身、大阪外国語大学となりました。1979年には、現在の箕面の地に移転し、大学発足当初12であった開設専攻言語も、その後の発展の中で、25言語にまで拡充しました。そして、2007年には大阪大学との統合にともない、大阪外国語大学は、大阪大学外国語学部として再出発しました。

外国語学部へ入学した学生は、4年間の体系的な一貫教育のもとで、各専攻語とそれを基底とする文化や社会を学びます。在学生の多くは、さまざまな機会を利用して、海外での生活を経験しています。そして現在、数多くの卒業生が、学生時代に修得した高度な言語運用能力と世界諸地域についての深い知識を切り札として、世界を見すえて、産業界や学界、教育界の第一線で活躍しています。

外国語学部のあゆみ

1921年（大正10年）	大阪外国語学校創立
1944年（昭和19年）	大阪外事専門学校と改称
1949年（同 24年）	大阪外国語大学設置
1979年（同 54年）	箕面市粟生間谷に移転
2007年（平成19年）	10月1日、大阪大学と統合

CONTENTS

外国語学部長あいさつ …… 1
外国語学部とは
外国語学部のあゆみ
ネイティブ教員からのメッセージ …… 3

専攻紹介（P5～29）をご覧ください。

各専攻のアドミッション・ポリシーを
それぞれの紹介ページ冒頭に記載しています。

各専攻紹介のページでは、冒頭に「こんにちは」を意味する言葉をそれぞれの言語の文字表記で載せています。

アドミッション・ポリシー …… 30
外国語学部のカリキュラム …… 31
就職状況 …… 32
交換留学制度 …… 33
卒業生からのメッセージ …… 35
箕面キャンパス施設・設備案内 …… 37
箕面キャンパス所在地経路図 …… 38

ネイティブ教員からのメッセージ

張　恒悦先生

中国語 専攻 P5

让我们一起学习汉语吧!

一緒に中国語を勉強しましょう！

チョウ　ユミ先生

朝鮮語 専攻 P6

한국어를 즐겁게 배워 봅시다.

韓国語を楽しく学びましょう。

オーガンバヤル先生

モンゴル語 専攻 P7

Сайн байцгаана уу?
Монгол хэл суралцъя, залуус аа.

こんにちは。
モンゴル語を一緒に勉強しましょう、
若者の皆さん。

サフィトリ先生

インドネシア語 専攻 P8

Mari kita belajar bahasa Indonesia bersama-sama!

一緒にインドネシア語を学びましょう！

ロムロ・バキーラン先生

フィリピン語 専攻 P9

Sa pag-aaral ng wika,
nagbubukas ang mga pinto para sa isip at puso ng ibang lahi.

言語を学ぶとき、
ほかの民族の考えと心に向けて、
いくつもの扉を開くのです。

マリワン先生

タイ語 専攻 P10

เรียนภาษาไทย เข้าใจสังคมและวัฒนธรรมไทย

タイ語を学び、タイの社会と文化を
理解しましょう。

トー先生

ベトナム語 専攻 P11

Quan hệ Nhật Việt ngày càng tốt đẹp
Hãy học tiếng Việt và nắm bắt cơ hội.

日越関係はますますよくなっています。
ベトナム語を学んでチャンスをつかみましょう。

シュエピーソウ先生

ビルマ語 専攻 P12

မြန်မာစကား အတူတူပြောကြစို့။

ビルマ語を一緒に話しましょう。

ヨーギー先生

ヒンディー語 専攻 P13

'हिन्दी' प्रेम और आत्मीयता की भाषा है। आइए! हिन्दी के रथ पर सवार होकर सारी दुनियाँ में आत्मीयता का दिग्घोष करें।

「ヒンディー語」は愛と親愛に満ちた言語です。
さあ、一緒にヒンディー語という乗り物に乗って、
全世界に親愛の情を広めましょう！

マルグーブ先生

ウルドゥー語 専攻 P14

اردو شیریں اور خوب صورت زبان ہے۔
آئیے، اردو سیکھیں!

ウルドゥー語は甘美な言葉です。
さあ、ウルドゥー語を学びましょう！

エル・シャルカーウィー先生

アラビア語 専攻 P15

لَيْسَتِ اللُّغَةُ الْعَرَبِيَّةُ لُغَةً نَحْلُ أَلْغَازَهَا،
بَلْ لُغَةً نَقْرَأُ وَنَكْتُبُ وَنَتَحَادَثُ بِهَا.

アラビア語は解読する言葉ではありません。
読み、書き、話す言葉です。

レザーイー先生

ペルシア語 専攻 P16

چون شکر شیرین و چون گوهر زبان پارسی ست

ペルシア語は砂糖のように甘く、
まるで宝石のよう。

トルコ語 専攻 P17

アクバイ先生

Türkçe sizlere yeni bir dünyanın kapılarını aralayacak. Hep birlikte Türkçeyi keşfedelim!

トルコ語は貴方に新しい世界を見せてくれます。
一緒に新しい発見をしましょう。

スワヒリ語 専攻 P18

ザイナブ先生

Tujifunze Kiswahili!

スワヒリ語を勉強しましょう！

ロシア語 専攻 P19

シピトゥーニナ先生

Умом Россию не понять,
Аршином общим не измерить:
У ней особенная стать —
В Россию можно только верить. *Ф. Тютчев*

頭では ロシアは理解 できぬもの　共通の 物差しをして 測れぬもの
ロシアには 独自固有の 立ち姿　ロシアとは 信じることしか できぬもの
チュッチェフ(井上幸義訳)

ハンガリー語 専攻 P20

ボルショシュ・レヴェンテ先生

Tanuljunk magyarul!

ハンガリー語を勉強しましょう！

デンマーク語 専攻 P21

マーティン先生

Du bliver kun lykkelig,
hvis du lærer dansk!

幸せになるためのデンマーク語！

スウェーデン語 専攻 P22

ウルフ先生

Upptäck Sverige hos oss!

私たちと一緒に
スウェーデンを発見しよう！

ドイツ語 専攻 P23

ゼルケ先生

Deutschland – Land der Ideen!

ドイツ　－　理念の国

英語 専攻 P24

メイリー先生

My name is Ashlyn Moehle. I grew up in the United States of America, where I became interested in foreign languages from a very young age. It was at the University of California that I had my first encounter with Japanese. Here at the School of Foreign Studies, I teach classes that help learners strengthen and refine their use of English to expertly navigate and negotiate in communicative settings. I also lead reading and discussion classes that explore language at various levels of linguistic analysis, providing a glimpse into the dynamic and fascinating nature of a living language like English.

Hi prospective students,
My goal is to help students get the English level they need to study abroad and/or use English in their future careers. In 1st year speaking class, my software identifies what each student needs to learn and displays the materials to learn it. In 2nd year, students learn formal policy debate, presentations and academic writing. In 3rd/4th, I teach classes in various areas like, linguistics, current events, American culture, Internet talks & dramatic speeches, music appreciation, and movie appreciation & acting.

スミス先生

フランス語 専攻 P25

富本ジャニナ先生

Bienvenue dans l'univers de la langue française !

フランス語の世界へようこそ！

イタリア語 専攻 P26

ベルテッリ先生

Ciao! Studiamo insieme l'italiano e scopriamo un paese ricco di storia, tradizioni culinarie e bellezze artistiche!

こんにちは！　歴史、美術、美味しい食文化などの魅力に溢れるイタリアを発見し、一緒にイタリア語を学びましょう。

スペイン語 専攻 P27

ナカガワ　マルガリータ先生

El español te abrirá las puertas del mundo hispano.
¡Estudiémoslo juntos!

スペイン語は、あなたにスペイン語圏への
ドアを開けてくれます。いっしょに勉強しましょう！

ポルトガル語 専攻 P28

ピニョ先生

Olá, sejam bem-vindos! Vamos estudar a língua portuguesa e aprender sobre culturas luso-brasileiras!

皆さん、ようこそ！一緒にポルトガル語を勉強し、
ポルトガルとブラジルの文化について学びましょう！

中国語専攻

中国語学習を通じて、中国および中国語圏諸地域の言語、文化、社会についての高度な知識を得たいと考え、そのために深い探究心をもって問題にとりくみ、中国語で積極的に学習や研究の成果を発信することを目標とするような学生を求めています。

外灘から望む浦東のビル群（上海）

あなたが大阪大学に入学してまず出会う中国語は、世界一の13億の人口、世界第3位の広さの国土、56の民族、それに伴う数十の言語をもつ中国と、世界中に広がる華人社会の共通語である言語です。

1年次では、「听」(きく)、「说」(はなす)、「读」(よむ)、「写」(かく)の各技能を総合的に学び、この言語の世界に、どっぷり浸かることになります。

2年次以降は、みなさんの志向次第で、次に挙げるような、さまざまな「中国語」を学びつつ、中国のいろいろな側面に触れることができます。

まず、現代中国の言語・文学・歴史・政治・経済・社会などを学ぶ手段としての中国語。これを学ぶことで、前掲の学問分野に対する基礎的な知識が身につくとともに、あなたの中国語は、より幅広く、知的なものになるでしょう。

また、共通語とはかなり異なった方言である広東語は、あなたの中国語に対する知識を多角的なものにするための、また、独自の歴史・民俗・風土などを知るための、最良の足がかりとなってくれるでしょう。

あるいは、近代から遥か古代へと遡っていく、歴史的中国語もあります。これを通して、あなたの中国への視点は、時間的な奥行きをもつことでしょう。

3・4年次では、ゼミに所属します。あなたが「どのゼミにしようか」と悩むとき、あなたは、きっと、それまで学んだ、さまざまな中国語が、ゼミでの多様な専門分野の学習に不可欠であったことを知り、今までのハードな勉強は、このためであったかと達成感を覚えてくれるものと、わたしたちは期待しています。

聖ソフィア教会（ハルピン）

中国語専攻ホームページ
http://www.sfs.osaka-u.ac.jp/user/chinese/web/

「ニィ ハオ」
你好

学生の声　3年　佐藤　悦子

私は人と話すことが大好きです。「中国語をマスターすれば、今より13億人も多くの人と話ができるようになるのではないか？」これこそが私が中国語専攻に入ろうと思ったきっかけです。

実際、三年生になった今、中国語を通して、多くの素敵な繋がりを持てています。学内だけではなく、アルバイト先で中国語を使い、接客をするなど、中国語を話す機会はあちらこちらにころがっています。熱心な先生方、豊富な教材、大阪大学のどのキャンパスにも中国人留学生がたくさんいて、中国語を学ぶのに本当に最高の環境だと思います。その上、中国には安い値段で、すぐに行くことができます。学んだことを活かせる場がたくさんあることは本当にうれしいことです。

また、中国語専攻は中国語劇団の活動が盛んです。伝統のある語劇団の活動で得られることは、本当に多いです。中国の脚本を使うので、中国の歴史や文化に触れることができたり、中国人留学生からセリフの発音指導を繰り返し受けることがスキルアップに繋がったり、中国語専攻の先輩方や留学生と関わることができたりと言いだすときりがないです。今年の春には、中国の北京大学にて海外公演も行いました。現地の中国人にたくさんお褒めの言葉をいただき、自分たちの中国語に対して自信を持てるきっかけになりました。

中国という国はいろんな意味でおもしろい国です。中国語の学習はワクワクの連続です。是非一緒に中国語を勉強しましょう。

留学体験記　4年　古木　美帆

大家好！私は昨年9月から今年2月まで、国立台湾大学に交換留学をさせていただきました。この留学で様々なことを学びましたが、そのひとつが「学び方」です。いい格好しいで失敗を恐れ、あまり中国語を話さず、会話が全くできない。典型的な日本人外国語学習者だった私に、留学はたくさんの「失敗する」機会をくれました。授業や部活動でも、はじめはわからないことが嫌で、つらいとばかり思っていましたが、台湾の人はいい意味で人のことなんか気にしません！自分がしたいことをしているか？ということを大事に生きている、その素敵な人生観が、これまでどうしても解けなかった私の悪循環を簡単に解いてくれました。

それからは、わからないことを楽しいと思えるようになり、中国語を学ぶことだけでなく、とびこむことも楽しめるようになりました。特に一番長い時間を過ごしたダンス部では、中国語もままならないのにチームリーダーになってしまい、うまくいかず泣きながら帰った日々もありました。ですが最初から最後まで、決して「留学生」という特別枠でみるのではなく、対等に「チームメイト」として扱ってくれたことに今は本当に感謝しています。この思い出は間違いなく私の宝物です。

環境をかえることはいつでもできることではありませんが、その分自分を大きく変えることができると思います。皆さんもぜひ外にとびだして、言語を、そして自分にとって大事な何かを学んでください！

朝鮮語専攻

朝鮮・韓国の言語や文化、社会に関する専門的な知識を身につけたい人。朝鮮語でコミュニケーションする能力を身につけたい人。日本と朝鮮・韓国間の相互理解を深める架け橋になりたい人。現地でも勉強してみたい人。

民族の聖山　白頭山（ペクトゥサン）（標高2,750m）　山頂の天池（チョンジ）（最深部384m）

受験生のみなさんに、朝鮮語専攻の教育課程、学生の海外留学と卒業後進路について、簡単ではありますが、案内いたします。

教育課程の基本的内容は、学年別にみると次のとおりです。

1年生と2年生は、朝鮮（南北朝鮮）の言語の習得が中心です。朝鮮語の音声組織、文法構造、語彙の習得が朝鮮語実習としておこなわれます。これとともに、朝鮮の言語文化と、近現代の歴史・社会のそれぞれについて、講義があります。3年生と4年生は、朝鮮語の語学力そのもののさらなる向上のために朝鮮語演習があります。これと同時に、朝鮮語を基底とした言語・文化・文学についての講義が進められます。3・4年生ではさらに言語・文化・文学の演習があります。これらの演習では、学生自身が言語・文化・文学の中からタイトルとテーマを設定し、学習、研究を進めます。4年生は、卒業するためには、卒業論文を作成しなければなりません。

朝鮮語専攻の学生は、以上のような教育課程を履修しながら、3、4年生になると海外留学する人が少なくありません。留学先はさまざまですが、大韓民国が中心です。留学先大学での修得単位が、本学での修得単位として認定されることが可能な場合があります。

学生の卒業後の進路は、朝鮮語専攻の前身である大阪外国語大学朝鮮語学科以来、多くの卒業生が商社、販売流通、金融、マスコミ、国際交流、公務員（一般、教職、外務など）その他各界で活躍しています。この就職先の傾向はここ数年も基本的に変わっていないようです。卒業生の中には、大学などで研究に携わっている人もいます。

以上が、朝鮮語専攻の教育課程、学生の海外留学と卒業後進路の概略です。

受験生のみなさん、朝鮮語専攻に入学されることを期待しております。

「アンニョンハシムニカ」

안녕하십니까？

学生の声　3年　亀田　由樹

朝鮮語は日本語と似ている点が多く、最も習得しやすい言語の一つです。最初はハングルが記号のように見えて覚えるのが大変そうだと感じる人もいるかもしれません。でも実はかなり合理的にできていますし、外に出てみると色んな所でハングルを見かけるのでどんどん分かるようになっていく実感も得やすいと思います。

私は二年生の時に韓国と朝鮮民主主義人民共和国の両方を一人で旅するというとても貴重な経験をしました。その中でも特に南北分断の代名詞となっている板門店を両方から訪れたことで朝鮮半島が置かれている状況を再認識しました。世間で信じられている事でも鵜呑みにせず、実体験や自分が得た知識をもとに考えることの大切さも痛感しました。道中これまでに身に着けた朝鮮語で上手くやりとりができた時はこの専攻語を選んで良かったと心から思いました。やはり誰かが発信した情報と直接自分が集めた情報とでは大きな差があります。まだ日本でニュースになる前の情報を通訳なしで誰よりも早く見聞きできた時の喜びは格別です。入学当初はただドラマや歌が分かるようになったり話せるようになりたくて勉強していました。しかし学べば学ぶほど日本語や日本の考え方とは違った新しい世界が開けてきてその魅力は尽きません。

受験生の皆さん、素敵な先生や先輩、仲間との出会いを通じて自分の可能性を広げてみませんか。あなたのやりたいことを実現できる環境がきっとここにあります！

留学体験記　4年　上田 さつき

私は4回生の8～12月までの約4か月間、韓国の漢陽大学に留学しました。3回生までがっつり部活に身を捧げあまり成績も良くなかったので、留学に対し直前まで躊躇いと不安がありましたが、せっかく専攻として勉強してきた朝鮮語を中途半端に終わらせたくないと考え、留学を決めました。案の定、最初は言葉の壁や環境の変化に苦しみ、大学の授業はおろかコンビニでの買い物さえも一苦労という有様でした。しかし、生活に慣れ、交流の輪が広がっていくにつれ、ストレスが少しずつ楽しさに変わっていきました。留学を通し、言語そのものを学ぶだけでなく、韓国の文化や国民の暖かい人柄にも直に触れ、私の中で大きな財産となりました。また、海外から日本を見ることで、日本の価値を再認識する機会にもなりました。

大学生活は時間がたっぷりあります。もちろん学業は第一に考えなければいけませんが、その傍ら、サークル・部活に打ち込むも良し、アルバイトに励むも良し、旅行に行きまくるも良し、とにかく気楽に色々なことをやってみてください。そして少しでも興味があれば、留学もやりたいことリストに加えてください。大阪大学は海外の提携校も多く、非常に留学制度が整っています。語学に自信無いし留学なんて無理…という先入観を持たず、チャンスがあるのですから、ぜひ有効活用してみるといいと思います。

モンゴル語専攻

モンゴルの言語と文化に強い関心を持ち、モンゴル語を習得してモンゴルの異文化の多様性を積極的に学ぼうとする明確な目的をもった情熱ある人。

ゲルと家畜

私たちの暮らす東アジアの北に位置するモンゴル国は、1990年代初頭の民主化以降、日本人にとって非常に身近なアジアの一国となりました。それまでの社会主義であった時代には考えられないほど、双方の人々の往来は自由で活発なものとなっています。毎年日本からは、多くの観光客やメディア関係者らがモンゴルを訪れ、報道や特集も日常的になっています。また、日本では国技とされる相撲界でのモンゴル人力士の活躍も目覚ましく、連日メディアを賑わせていますが、モンゴル語は、このような私たちにとって身近なアジアの隣人であるモンゴル国の公用語です。

本学モンゴル語専攻では、そのようなモンゴルについて、その言葉の学習を通じて、文化や歴史、自然、民俗、宗教、思想、社会、方言など、関連する様々な方面への理解を深めます。モンゴル語の語順は、日本語と同じくいわゆるSOV型です。名詞類は日本語の「てにをは」に当たる格変化を持ち、動詞の活用も基本的に規則変化します。英語などと違い、日本語の語順で考え話すことができる、非常に学びやすい言語の一つです。文字は2種類使われています。1つは13世紀にチンギス・ハーンが建てたモンゴル帝国以来800年あまりに渡って使われてきた縦書きのモンゴル文字と、1940年代に新たに導入されたロシア文字基盤のアルファベットですが、その両方を学びます。日本人スタッフとネイティブによる授業で、1-2年次には、生きたモンゴル語を基礎からしっかり身につけます。3-4年次には、学んだそのモンゴル語を生かして、卒業論文の作成等を目指し、各人の興味ある分野をより突き詰めて研究できるようなカリキュラムになっています。

本学での学生生活は、1年次には豊中キャンパスで、2年次以降は箕面キャンパスで勉強します。大学内では、各種クラブ活動やサークルに参加したり、在学中に休学して、モンゴルや中国、英語圏などへ留学し、語学力等の向上を目指す意欲的な学生もいます。

本学モンゴル語専攻は、旧大阪外国語大学モンゴル語科を引き継ぎ、大阪外国語学校以来九十余年の長きにわたる歴史を持っています。特に作家、故司馬遼太郎氏の出身としても知られてきましたが、卒業後の進路に関しては、そういった文筆活動のみならず、大学でのキャリアを生かし、外務省をはじめJICAや、新聞社などの海外特派員、企業の駐在員といった、国際舞台に活動の場を見出した人も多くいます。また、教育者となって全国各地で教鞭をとったり、進学して研究者になったりと様々ですが、就職状況も例年概して良好です。

皆さん、一緒にモンゴル語を学びましょう。

草原と湖

ラクダとゴビ砂漠

「サイン バイノー」

ᠰᠠᠶᠢᠨ ᠪᠠᠶᠢᠨᠤ᠎ᠠ ?

学生の声　4年　竹下　友貴

他国の文化を知ることは、これからますます重要になってくると思います。皆さんはモンゴルについてどんなことを知っていますか？

たとえば、白い食べ物は縁起が良いとされる牧畜遊牧民の家庭では、ゲストに乳茶やチーズを出します。乳茶は栄養満点の甘いホットミルク、ゲルの上で干して作ったチーズは固く酸っぱい味がします。ゲルの外に出ると広い草原のもとヤギや羊が群れを作り、馬に乗った牧民が颯爽とかけていく様子は大陸を感じずにはいられません。

私自身たった1週間でしたが春休みを利用して首都と田舎を体験しました。中でもモンゴル人の家畜への態度は強く印象に残りました。家畜たちは年齢性別で呼び名が変わり、生まれたばかりの家畜を凍え死なないようにゲルの中で大切に育て、家畜の排泄物を大切な燃料として用います。首都にさえ、ヤギやラクダの銅像があちこちにあります。

学内では、モンゴルの他国間との関係を踏まえて「モンゴルは東アジアのpeacemakerとなりうるか」というテーマを設定し、大阪大学の「平成27年度学部学生による自主研究奨励事業」に採択されました。補助金を渡航費の一部として使い、夏休みを利用してクラスメートとモンゴル国立大学に行きアンケート調査を行いました。

学外では「日米学生会議」に参加しました。日本やアメリカの大学生と安全保障について学び、1ヶ月間の共同生活を送りました。今は、日本モンゴル学生協議会を立ち上げて、これから発展させていこうとしているところです。

ホームステイ先の家族とともに（フブスグル県）

留学体験記　4年　野本 悠紀子

3年生の10月から1年間休学してニュージーランドで7ヶ月、モンゴルで3ヶ月間留学しました。海外の大学で授業を受けるよりも言語自体の勉強をし直したかったので、交換留学ではなく私費で語学学校に行きました。

モンゴルでは1ヶ月間ウランバートルで語学学校に通った後、2ヶ月間は「文化留学」をしようと放浪の旅に出ました。地方都市とその郊外を転々とし、友達の親戚のゲル（遊牧民の家。天幕）に泊めてもらいました。子どもが家の手伝いをするのにくっつきながら遊牧民の生活を体験。モンゴルの草原から学ぶことは多くて、家畜の世話から乳製品の作り方、乗馬の仕方、羊の屠殺などを見て文化と伝統を感じてきました。自然と共生している遊牧民から学べることは無限にあるようでした。

日本ではあまり触れられない自然を身近に感じられたのも刺激的でした。地平線まで広がる大平原、間近で草を食む馬、万年雪の残る山々、満天の星空…。ゲルは1つの部屋で構成されるので、草原がある意味プライベート空間になるというのもモンゴルならではでした。

実際に体験しなければ知ることのなかったものを学んだこと、多くの都市にまた帰りたいと思えるホームができたことは大きな収穫でした。みなさんも、融通のききやすい学生時代に異文化を学んでみませんか？たくさんの刺激がみなさんを待っています。

インドネシア語専攻

多彩な数百の民族から構成される東南アジア最大の国家であり、日本とも深い関係を持つインドネシアについて、インドネシア語の習得を基盤としながら、言語・文化・社会・信仰・歴史などの様々な面から積極的に学び、理解を深め、その成果を生かして、社会に貢献していきたい人。

アチェの中央モスク

インドネシアは約2億4千万人（世界第4位）の人口をもつ、東南アジアの群島国家です。1945年に独立を宣言しました。

インドネシア語は、マレー語を母体として独自の発展をとげた、インドネシアの国語です。ローマ字で表記され、文法も難しくないため、今では全国に普及しています。一方、インドネシアには数百の地方語があり、日常生活においてはインドネシア語と共にそれぞれの地方語が使われています。

広大な国土と多様な民族集団をもつインドネシアに関して、私たちは何を学ぶことができるでしょうか。

歴史をひもとけば、ヒンドゥー・イスラム諸王朝の時代、オランダ植民地時代、日本占領時代、そして独立後の激動の歴史が私たちを惹きつけます。1998年の民主化を経て、インドネシアは新しい時代を迎えています。

各地に目を向ければ、多様な文化と社会があります。スマトラ島には母系制で知られるミナンカバウ人、カリマンタン島には「森の民」といわれるダヤク人、スラウェシ島にはかつて海洋王国を築いたマカッサル人、ニューギニア島にはパプアの人びとがいます。また、ジャワ、バリをはじめ、各地の絢爛たる芸術・文学は多くの人々を魅了し続けています。さらに、現代の芸術、文学、ポピュラー・カルチャーは同時代を写す鏡として興味深いものです。

今日、インドネシア社会は、グローバリゼーションの波の中で、変化をとげつつあります。経済が急速に発展する一方で広まった格差の是正、開発と環境のバランス、多宗教・多民族共存などが課題としてあります。

何を学ぶにせよ、インドネシア語は基礎となります。しっかりと言葉を学び、本当のインドネシアに触れる旅に出かけましょう。広く、大きく、多様なインドネシアは、私たちに多くの生きる手がかりを与えてくれるでしょう。

首都ジャカルタ

インドネシアの子供達

「スラマット シアン」

Selamat siang

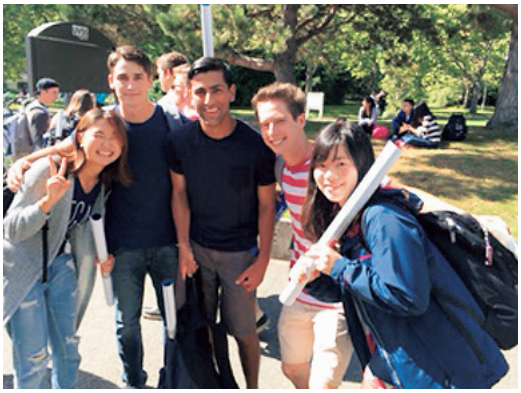
学生の声　3年　河野　凪紗

みなさんは、インドネシアと聞いて何を思い浮かべますか？ 1番多く聞こえそうなのは観光地「バリ」でしょうか。特に何も浮かばないという人もいそうですね。私もインドネシア語専攻に入るまで、何も知りませんでした。インドネシアの場所すらも。

しかし、言語や文化・歴史について学び、現地に行ってみると、インドネシアと日本の関係が非常に密接だと感じました。多くの日本人がインドネシアのことをほとんど何も知らないのに、多くのインドネシア人は日本のことが大好きで、日本文化について詳しいのです。外国語学部のインドネシア人留学生たちも私たちの勉強を手伝ってくれたり、一緒に晩御飯をつくって食べたり、積極的に交流してくれます。

そしてインドネシア語専攻の大きな魅力はクラスの人数が非常に少ないため、クラスメイトだけではなく、先輩後輩や先生方との距離が非常に近いことだと思います。日々の勉強のことや留学のことなど、誰にでも気軽に相談できます。ちなみに、年にもよりますが、クラスの半分以上の学生が留学に行っています。インドネシアはもちろんのこと、英語圏に行く人もいて、自由に海外に行ける環境です。

「インドネシア語専攻です」と自己紹介をすると、必ずと言っていいほど「え？」と聞き返されます。たしかに日本で学習している人は少ないかもしれません。でもあなたも勉強してみたら、きっとインドネシアの虜になるでしょう。



留学体験記　4年　藤崎　拓海

私はインドネシアのジョグジャカルタにある、ガジャマダ大学に一年間私費で留学しました。最初の半年は留学生専用のプログラムに参加し、後半は現地の学生と一緒に学部の授業を履修して、英語力も向上させるために民間の英会話教室に通っていました。

日本人留学生がとても多い地域でしたが、私はインドネシア人と毎日を過ごしていました。それは、語学や文化を体感したいからという理由もありましたが、何より、彼らと一緒にいるのがとても心地よかったからです。毎晩カフェで夜中まで語り合った友達、恋の悩みを聞いてくれたアパートのおばちゃん、ジャワ語の練習に付き合ってくれた警備員のおじちゃんまで、みんなが私の家族のようでした。

そうして半年が経過した頃には、レストランで店員と間違えられて注文を受けたり、イベントのMCをインドネシア人と務めたり、完全にインドネシア人としてなじんでいる自分がいて、いつしか現地名で呼ばれるようになっていました。多くの人と出会い、いろんな価値観にふれるなかで、違いを受け入れ、受け入れられる自分に成長できたこと。それが私の留学生活の一番の収穫です。

当初は語学力を向上させることを中心に考えていましたが、様々な経験を通して自分を大きく成長させることができました。帰国した後も私を応援してくれる友人もでき、語学以上のものもたくさん得られました。皆さんも、是非留学でいろんなことに果敢に挑戦し、たくさんのことを学んでください。

フィリピン語専攻

フィリピンの人・ことば・文化に関する研究テーマを多様な学問的視点から考え、それを卒業論文として自らのことばで表現し、私たちが暮らす市民社会に向けて積極的に発信したいと思っている人。研究テーマを深めるために、フィリピン語の言語能力を高める努力を惜しまない人。

オフィス街の聖母マリア像

Sayang…… “Ubusin mo iyan, sayang, e.”「もったいないから食べてしまいなさい。」フィリピンの家庭に食事に招かれるとよく言われます。

“Busog na ako.”「いえいえもういっぱいです。」おかずを少し残して感謝の意を示すのが、フィリピンでの奥ゆかしさです。

語尾のngは「ング」ではなく、「ン」と発音して口を軽くあけ、音を鼻にぬきます。「サーヤン」です。ng以外の部分は、ローマ字読みしてやればよく、新たに文字を覚える必要がないことに加えて、フィリピン語を学びやすいものにしています。

Sayang　という語の後には、そこはかとない気持ちが残ります。それはFilipinas（フィリピン）の輝きと翳りを映し出しています。

Tao　人…… Filipinasは、地球上のいたるところに広がる人を除けば資源のない国です。経済大国でも、ましてや軍事大国でもありません。その名は、スペイン・ハプスブルグ王朝のフェリペ王子の名に由来しています。

スペイン人が来る前、Filipinasには、多くの民族が住んでいました。現在でもその数は150を下らないと言われます。そのなかには、キリスト教徒、ムスリム、さらにより人口規模の小さい少数民族が含まれています。少数民族のなかには、グローバリゼーションの下でアイデンティティのみならず、存在の危機に瀕している民族もあります。自然環境を失い、文化や言語を失い、アイデンティティを失うことで、生殖能力まで失いつつあるのです。

同じことは、海外に移住したフィリピン人にも言えます。現在、日本の小中学校では多くのフィリピン人児童生徒が学んでいます。彼ら、彼女らは、学齢期の途中でフィリピンから日本に移り住むことが多く、日本語はもちろん母語についても十分な表現力を獲得できないセミリンガルの状態に陥ることがあります。

こうした問題は、フィリピンの人々のみが直面する問題ではありません。グローバリゼーションのなかで私たちもまた同じように文化の問題、言語の問題、アイデンティティの問題に直面しているのではないでしょうか。

Pag-asa　希望……フィリピン語専攻では、フィリピンの人々と私たちが共有している問題を、皆さんの生き方を通して考えていく姿勢を養って欲しいと考えています。そうした問題は、容易には解決できず、私たちに閉塞感や無力感をもたらすかもしれません。民族紛争のように白黒をつけてはいけない場合もあるかも知れません。フィリピン語専攻の教育プログラムは、教室のなかだけの語学に留まらず、多方向的なコミュニケーションの場を創造し、現実的、現場的視点に立って困難な問題に粘り強く取り組むことのできるリーダーシップを育てたいと思っています。

「クマイン カ ナ バ」

Kumain ka na ba?（もう食べましたか）

学生の声　2年　坂本 祐梨子

私の専攻しているフィリピン語は、魅力の多い言語だと1年勉強する中で感じました。フィリピンの方たちは温厚で陽気な方が多く、ネイティブの先生方はユーモア溢れる方ばかりで毎回楽しく受講しています。

フィリピン語専攻は毎年10人前後という少人数であるため、絆が強くとても仲がいいです。週末には全員でかけたりと、下宿している私にとっては兄弟のような存在です。これからある語劇祭も団結力で良いものにしていきたいと思っています。

フィリピン語は他の言語に比べて学びやすい言語だと思っています。アルファベットであるため文字を一から勉強するわけではありません。入学してすぐ会話表現の勉強を始められるのが良い点だと思います。

今年の春、フィリピンに旅行に行ったとき、フィリピン語を使って現地の方とお話しすることができとても感動しました。新しい言語を学び、ネイティブの方と会話する喜びは外国語学部ならではのものだと思います。

“mabuhay!” これは私が1番好きなフィリピンの言葉です。

この単語には2つの意味があります。1つは「ようこそ！」という意味です。フィリピンに行くと、空港やレストランなどいたるところにこの言葉を見つけることができます。

もう1つの意味は「乾杯！」という意味です。私が現地のレストランに行った時は定員さんも一緒になって“mabuhay!”といったのを覚えています。

この言葉を現地で使うとフィリピンの方たちはすごく喜んでくれます。ぜひ覚えて使ってみてください。

留学体験記　4年　福原　恵

私は、2014年4月から1年間フィリピン大学に留学しました。決意の背景は、日本語・フィリピン語間通訳の人材不足や経済発展と豊富な労働力を求めて現地進出する日系企業の増加から、言語習得の重要性を感じたからです。現地では、文化や宗教にも理解を深め、人生観が変わるような経験もしました。ここでは、フィリピン大学と現地で関わったボランティアの2点を紹介します。

まず、フィリピン大学では文学や歴史、社会福祉学などを勉強しました。どれも英語ではなくフィリピン語での授業をお願いしました。始めは苦労しましたが、現地学生は気さくで明るく、私がフィリピン語を話せるとわかるとすぐに打ち解けることができました。彼らは、授業の発言も積極的でプレゼンスキルに優れています。一方、楽しむ時は楽しんでメリハリのある姿が印象的です。

また、現地では言語を活かして学生ながら貴重な体験をしました。例えば、2013年に台風で被害を受けたタクロバンという地域にNPOの通訳として同行しました。そこで、親を亡くしながらも夢を持って生きる子どもたちに出会ったことは大きな経験となりました。私はこれをきっかけに現在でも、防災教育活動に取り組んでいます。

最後に、日本を離れて周囲のサポートのありがたさに気づかされました。もちろん、ホストファミリーは私を家族の一員として迎えてくれてホームシックはなかったですよ。フィリピンだからこそ経験できることがきっとあなたを成長させてくれるはずです。

タイ語専攻

タイ語による実践的コミュニケーションの能力を養い、かつそれを基礎にタイの社会的文化的ダイナミズムに対する深い洞察力を身につけたいと考える人。

タイといえば稲作・象・ムエタイ・仏教寺院というイメージを持つ人が多いと思いますが、現在のタイ国は、農林漁業就労者の人口が全就労人口の50%を割り、工業化とサービス産業を中心とした経済成長を遂げている「中進国」です。このようなタイの経済発展・工業化にもっとも深く係わっている国の一つが日本です。たとえば、タイの自動車産業は東南アジアの中心的役割を担っていますが、日本の大手自動車・自動車部品メーカーがそれを支えています。

タイは、豊かな自然環境、開放的で自由な雰囲気、安定した社会体制、物価の安さなど、外国人にとっても大変居心地の良い国であり、タイを訪れる日本人観光客は年間約100万人、長期滞在をする日本人の数は6万4千人（大使館の在留届）にのぼり、短期滞在ビザで滞在する人を含めると、10万人ちかくの日本人がタイで生活しています。また近年訪日タイ人観光客数が急増しており、2015年には約80万人のタイ人が日本を訪れました。日本国内には留学生を含むタイ人長期滞在者が4万5千人います。このように、日本とタイは経済的な面に加え、人的交流の上でも大変密接な関係を築いています。

60数年の歴史を持つタイ語専攻の卒業生は様々な分野で活躍していますが、特に、日タイ間の架け橋として活躍している人材が多数輩出しています。タイ国内で活躍している卒業生も多く、バンコクの同窓会の活動は非常に活発です。

タイ語専攻では、タイ語の運用能力を養いながら、タイについての総合的な知識を学ぶためのカリキュラムを組んでいます。1・2年次にタイ語の基礎を学び、その上で3・4年次にはタイの言語、社会・文化、政治・経済、文学、歴史について専門的に学べるようになっています。

また、交換留学の協定を結んでいる大学が多いので、3・4年次にタイの大学に留学する学生も多数います。外国語学部をはじめ、大阪大学に留学しているタイ人留学生との交流も盛んで、授業だけではなく、キャンパスライフの中でタイの人と接する機会も多いのも特徴です。

「サワッディー」

สวัสดี

学生の声　3年　藤田　真菜

私がタイ語専攻でよかったと感じる理由はたくさんあります。その中でも私が特に知ってほしいことは、タイ語専攻では数多くのすばらしい出会いがあるということです。

タイ語専攻の先生方は指導が丁寧でとても優しい方ばかりで、少しの相談事でも熱心に聞いてくださり、私もこれまで何度もお世話になりました。タイ語専攻では毎年夏に1、2回生でタイに1週間ほど訪れる研修旅行があります。主に、これを通して先輩や後輩との仲が深まります。このタイ研修はタイ語を学び始めたばかりで、タイについて詳しく知らない1回生を、2回生がサポートしながらタイの大学で授業を受けるほか、さまざまな体験をすることができるというものです。先輩後輩の強いつながりにより、授業や留学に関する情報を詳しく聞くこともできます。タイ語専攻における、その学年内だけにとどまらない幅広いつながりは、他の専攻語にはない自慢すべき魅力の一つです。また、大阪大学にはタイの留学生が多く、私たちタイ語専攻とは食堂での食事や、パーティーなどを通して仲良くなり、タイ語に触れる機会は教室内だけにとどまりません。さらに、タイには交換留学の協定を結んでいる大学が多く、留学を考える人にとって、出会いを増やすチャンスになります。

このように、タイ語専攻に入るとすばらしい出会いが待っています。ぜひ、タイ語専攻で充実した学生生活を送りませんか。

留学体験記　4年　藤岡　諒

タイの首都・バンコクにあるチュラロンコン大学に1年間留学しました。この大学はタイ最難度の大学で、日本で言うところの東京大学のようなものですね。

留学自体は日本学生支援機構から給付型（＝返す必要がない）奨学金をもらっていたので費用はほとんどかかりませんでした。ちなみにこの奨学金、それぞれ別のタイの大学に留学していった同級生たちも皆もらえていました。（＊）

そんな留学ですが、タイの学生たちと全く同じ授業を受けていました。つまり、タイ語で授業を聞き、タイ語で発言し、タイの学生と同じ宿題をこなし、タイの学生が受けるテストを受ける、ということです。

このように書くと、とても大変そうですよね？でも、大丈夫です。実際にはどの授業でも必ず助けてくれるタイの方がいて、宿題のアドバイスや重要なポイントを教えてくれるのでなんとかなるんです。留学に来て、この「人の優しさ」というタイの魅力を改めて感じました。

さて、もう一つ大事なことはタイというのは数多くの日本の会社が進出している国であるということです。留学中にもタイで活躍している日本人とお会いする機会がたくさんありました。実は僕はその中で就職も決まってしまいました。これは日本とのつながりが深いタイに留学したからならではの話ですね。この「日本との関係の深さ」もまた留学で実感しました。

今この文章を読んでくれているあなたがそんなタイ留学に少しでも興味を持ってくれると嬉しいです。

（＊）平成27年度実績

ベトナム語専攻

ベトナムに強い関心を持ち、ベトナムの言語と文化の学習に意欲的な人。そして、学んだことを活かして、国際的な仕事に就きたい人。

ベトナム社会主義共和国は東南アジア大陸部の中で9340万人という多数の人口を誇り、急速な経済成長を遂げる文字通り「元気」な国の代表です。そして我がベトナム語専攻は、大阪外国語大学時代の古き良き伝統を維持しつつ、新しい時代に向かって進化を遂げ続ける、本国に負けない「元気」な専攻の一つです。

古き良き伝統とは、まず「大家族ベトナム　Dai gia dinh Viet Nam」を正に体現する専攻内の結束の強さです。これはベトナム戦争を勝ち抜いたベトナム民族の結束とその力強さを誰もが学ぼうとする気持ちの現れともとれます。ベトナム人留学生と日本人学生とが肩を寄せ合って一緒に勉学する姿もベトナム語専攻の特徴の一つです。初級・中級を終えた3・4年生の授業では、ベトナム人と日本人が一緒に参加する授業がいくつかあります。そこでは、互いにベトナム語で議論する光景がしばしば見られます。日本にいながら常にベトナムを感じつつ、ベトナムの良さを学ぼうとする学生で溢れています。また、ベトナムの誇る「孝客hieu khach」（客をもてなす）文化もちゃんとここにはあります。分け隔てなく客人をもてなす上級生達が、皆さん新入生を心から手厚く歓迎してくれることでしょう。

ところで、ベトナムと日本の関係は意外と古く「天の原ふりさけ見れば春日なる三笠の山に出でし月かも」の歌でお馴染みの阿倍仲麻呂の時代にさかのぼります。中国で科挙の試験に合格し官僚となった仲麻呂は、当時安南都護府と呼ばれた地に趣きます。そこは取りも直さず今のベトナムの首都ハノイの辺りだと言われています。今のベトナムに目を向けても、箸や爪楊枝を使い、米を主食とする食文化、かつては漢字を使った歴史、誰もが認める「勤勉さ」に加えて、日本語の敬語にも通ずる相手を気遣う言葉使い、昔どこかで見かけた様な田園風景など、我々日本人が自分のルーツを探ろうとする時、一度はそこに立ち止まりたくなることばかりです。「水を飲んで源を思うUong nuoc nho nguon.」日本人として知るべきことの多くを教えてくれる大切な国です。

「家に入っては俗に随えNhap gia tuy tuc」ベトナムに興味のある人はもちろん、選択に迷っている諸君も、まずはここに身を置いて、その空気を思う存分吸ってみて下さい。必ずや有意義な学生生活が待っていることを約束します。

最後に言い忘れましたが、ベトナム語専攻では女性陣の声が大きく逞しいことも彼国と同じです。「一に奥さん、二に神さんNhat vo, Nhi troi」男性諸君、負けずに頑張ってください。

「シーン　チャーウ　カーック　バーン」

Xin chào các bạn!

学生の声

2年　櫻井　祐太
2年　瀬尾　秋生

Xin chào các bạn!!!

【225時間】何の数字かわかりますか？

1年間のベトナム語の総授業時間です。一般的にはこれを2年間続け、ほとんどの学生は留学に行きます。450時間、つまりおよそ19日間分ベトナム語を勉強して留学に望む、ということです。どうでしょう、短いと感じるかと思います。ましてや卒業論文をベトナム語で書く専攻語ですから、特に短く感じられることでしょう。

僕は個人的に授業を受けているだけでは“卒業論文をベトナム語で書く”ということはとても難しいと思います。でも、安心してください。我々ベトナム語専攻は授業外にも様々なイベントがあり、それらを通してベトナム語に触れるチャンスは山ほどあります。その中で指数関数的に力をつけていけばよいのです。

専攻語主催のイベントでいうと、学生だけでなく教授陣も含めた交流会が年に5回あります。最初に入学してすぐ、上級生も合わせた専攻語全体での歓迎会。1、2年生と夏に行われる夏まつりの模擬店を想定してのベトナム料理試食会。揚げ春巻き、生春巻き、ベトナム風おこわなど色々なベトナム料理が食べられます。秋には2年生が主体となって行われる語劇祭があり、すべてベトナム語で劇を上映します。そして4年生の卒業間際には専攻語全体で行われる追いコンと様々。学年を超えた交流ができるだけでなく、教授陣とも気軽にコミュニケーションが取れます。ここまでイベントを行っているのは専攻語の中でも、我々ベトナム語専攻くらい。

きっと選んで後悔はないはず。むしろ選んでよかった！とさえ思えるはず。みなさんのご入学をお待ちしています。

留学体験記

4年　菱川　裕人

私はベトナムの首都ハノイで1年間留学していました。大学の授業はもちろん、買い物など全ての面でベトナム語を使っていました。当初、ベトナム語独特の『声調』に慣れずあたふたしていましたが、気さくで優しいベトナム人とおしゃべりしたり、ベトナム語を教えてもらったりしているうちに自然と慣れました。ベトナムでは日本で勉強して知っているつもりになっていたことでも、実際に自分で見たり、体験したりすることでより深くベトナムの文化に触れることができました。その最たるものがテト（ベトナムの正月）での体験でした。私はテトの時に友人の家に招かれたのですが、まるで自分が有名になったのではないかと錯覚するほど盛大なおもてなしを受け感動しました。話には聞いたことはあったのですが、その想像をはるかに超えるものでした。日本のおもてなしは有名ですが、ベトナムの『おもてなし』もすばらしいものでした。

また、学業以外にもベトナム人に日本語を教えたり、日本大使館でのアルバイトといった、日本ではなかなか体験できない貴重な体験もすることができました。

苦労することも多くありましたが、語学力の向上はもちろん、それ以外にも現地でしか感じることができない文化に触れる機会が沢山あり、とても貴重な1年間を過ごすことができました。皆さんにも是非ベトナムの文化に直接触れてもらいたいです！ベトナムは何時でも最高のおもてなしで私たちを待ってくれています‼

ビルマ語専攻

異言語を学ぶことは異文化を体験することです。ビルマ語の勉強を通して、ミャンマーの土地に育まれた人々の生活やものの考え方に触れ、異文化について深く考えてみたい人を歓迎します。

あるお寺の境内で出会った子どもたち
（モン州モーラミャイン市、2003年2月）

「おもしろい文字ですね」
「目の検査のようですね」

検眼表の円い図形や知恵の環を思い起こさせるユーモラスなビルマ文字で書かれたビルマ語は、ミャンマー連邦（1989年対外的な英語呼称BurmaをMyanmarに変更）の公用語であり、5,141万（2014年）国民の共通語（母語人口はその4分の3強）です。

ビルマ語の最古の文献は通称ミャゼディ碑文（1112年）で、四面体の石柱にバガン朝のチャンシッター王の遺徳を讃えた顕彰碑がモン語・パーリ語・ピュー語・ビルマ語の4つの言語で刻されています。今では死語となったピュー語が含まれていることから、この碑文は「ビルマのロゼッタ石」と呼ばれたことがあります。

ビルマ語の話し手の社会は、インド文明とシナ文明の影響を受けた点で、また、稲作文化を基調とする点で、東南アジアのほかの地域との共通性をもっています。宗教的には、南伝上座部仏教を信仰する人たちの社会と、社会規範や価値観を共有しています。さらには、少数民族との接触による文化の相互作用も、東南アジア大陸部に共通にみられる現象です。こういった関心は、遠く北方の雲南・貴州の地の人々の文化にも私たちを誘（いざな）ってくれるでしょう。

ビルマ語を専攻言語として選ぶ人たちは、当然のことながら、まず、ビルマ語の運用能力を身につけることが求められます。そして、その背後にある基層文化を言語・文化・社会の各面にわたって、総合的に学ぶことになります。また、関連する言語として、チベット語のほか、カレン語など少数民族の言語も学ぶことができます。

（注：「ビルマ」という地名は、幕末の地理書で、箕作省吾（みつくりしょうご）の『坤輿図識（こんよずしき）』（1845年）にみえる「毘爾満」を嚆矢とするようである。－平田由美氏の教示による）

ミャゼディ碑文
（バガン博物館蔵のA碑文）

「タミン サー ピービーラー」
ထမင်းစားပြီးပြီလား（食事をすませましたか）

学生の声　2年　西村　梓

ミンガラーバー！（こんにちは！）視力検査みたい！というのが、私が友人にビルマ文字を見せたときに一番多い反応です。皆さんも上の挨拶を見て、どこで区切るの？とか、どの文字がどの発音なの？と様々な疑問が浮かんだのではないですか？私たちは日々この文字を使用するビルマ語を学んでいます。日本語にない発音があったりして最初は覚えるのも大変ですが、スタートはみんな同じなので安心してください！

普段の授業では、言語だけでなく文化や社会についてもしっかりと学びます。ビルマの音楽を聴いたり、映画を見たりもします。授業以外では夏祭りへの出店や秋の語劇祭に参加したり、ミャンマー人の先生のお宅でのホームパーティーではミャンマー料理をいただいたり、と様々な場面でミャンマーの文化に触れることができます。

さて、ここで1つだけミャンマーのものを紹介しましょう。写真で私たちが履いているのは「ロンヂー」という伝統衣装の巻きスカートです。ミャンマーでは今も男女ともにこの衣装を着ています。色や柄もたくさんあり、上着との組み合わせは無限大で、みているだけでも楽しいです。

大学に入る前はミャンマーについてほとんど知らなかった私も、入学してからは初めて見る文字や日本とは全く違う文化など、学ぶこと全てが新しく、毎日がとても充実しています。皆さんも私たちと一緒にそんな毎日を送りませんか？

留学体験記　4年　大坂 加那子

私は2014年12月から2015年9月までの10ヶ月間ミャンマーの最大都市ヤンゴンに留学し、ヤンゴン外国語大学に通っていました。授業は9時から14時半まであり、中国やタイ、インドなど様々な国籍のクラスメイト達と一緒にビルマ語を学びました。文化祭で一緒に劇を発表したり、授業で歌を歌ったりする機会もありました。ビルマ語を共通言語に色んな国の人とコミュニケーションできたのは、とても楽しく貴重な経験となりました。放課後や休みの日にはミャンマーの友達とパゴダと呼ばれる仏塔にお参りに行ったり、ロンジーと呼ばれる民族衣装の布を一緒に選んで仕立屋さんにオーダーメイドしに行ったりして楽しみました。写真は仕立ててもらった民族衣装を着て、シュエダゴンパゴダと言う国内で最も有名なパゴダに友達とお参りに行った時に撮った写真です。ライトアップされたパゴダはとても荘厳で、見ていると心を穏やかにさせます。

ミャンマーは近年急激な経済発展を遂げ大きな転換期を迎えています。国全体が勢いづき、人々の漲る活力を感じられる国です。そんなミャンマーでは日本語やビルマ語を活かすチャンスもたくさんあります。私自信、通訳や翻訳、ビルマ人に対する日本語教師、現地のNPO団体との交流等、様々なことにチャレンジしました。日本ではできない体験やミャンマーでの一期一会の出会いを通して大きく成長できた留学となりました。

ヒンディー語専攻

ヒンディー語専攻は、ヒンディー語を習得し、新しい可能性を秘めたインドの社会と文化の現実を、熱く学ぶ意欲を持つ皆さんを歓迎します。

インドのアーグラー市にあるタージ・マハル

インドの人口はついに12億人を突破し、2045年には中国を抜いて世界一になると言われています。これほどのすごいエネルギーをもったこの国について皆さんはどれだけのことを知っているでしょうか。仏陀、ガンディー、カースト制度、ヨーガ、カレー、貧困、核保有国というイメージが定着しているのではないでしょうか。それらは、もちろん一面の事実ですが、現実のインドは、立派に民主主義が働いており、めざましい高度成長を遂げつつあり、とくにIT産業の発展はめざましいものがあります。アジアの市場を見るとき、「中国の次はインドだ」といわれるのも無理はありません。伝統的にインドと日本は、仏教という精神文化を通じて交流がありましたが、これからは文化・社会・政治・経済のあらゆる分野での交流が重要となるでしょう。

私達ヒンディー語専攻では、トータルなインド文化理解の前提として、もっとも重要な公用語であるヒンディー語の習得を非常に重視しています。最初の1年間は、徹底的に語学の訓練にあてられます。これを武器として、他大学には真似のできないインド研究を目指しているのです。ヒンディー語をマスターすれば、インドの知識の無尽の宝庫が諸君の前に開かれます。ヒンディー語は語順も日本語とよく似ており、文法も簡単で整然としており、発音は少し難しいものもありますが、一語一語はっきり発音してくれるので非常に聞き取りやすい言葉です。世界で一番多く映画が制作されるのはインドであり、その中でもヒンディー語映画は人気があり、世界中に輸出されています。日本でも近頃、インド映画を見る機会が増えてきました。字幕なしでこの言葉が理解できればどんなに楽しいことでしょう。皆さんの憧れるカッコいいスターに会ってヒンディー語で話すというチャンスに恵まれるかもしれません。

厳しい授業でもヒンディー語学習の楽しさは十分満喫してもらえると信じています。優秀な諸君、好奇心旺盛な諸君、ヒンディー語専攻に来たれ！

インドの500ルピー紙幣の裏上と左下の文字がヒンディー語。右下が英語。左のボックス内にその他の15の言語で500ルピーと書かれている。

「ナマスカール」

नमस्कार

学生の声　3年　日髙　航洋

ナマスカール！みなさん、こんにちは！みなさんはヒンディー語にどのような印象をお持ちでしょうか？マイナーな言語と思っておられる人も多いのではないかと思います。

ヒンディー語は、BRICsの一つでいずれは中国を抜いて世界トップの人口大国となるインドの公用語でもあり、むしろ、とてもメジャーな言語なのです。私がヒンディー語を学ぼうと思ったのも、インドが急成長を遂げていて、将来役に立つのでは、という理由からでした。

1年生の頃は、文字と基本的な文法を短いお話や会話文を通して習得するのですが、これがまた衝撃の連続です。なんだ、この字は！発音難しい！活用がすごい！などなど、インドをこよなく愛する先生方が、学生達の知的好奇心を駆り立ててくれます。2年生になるとハードルが上がり、神話や小説、詩などをヒンディー語で講読します。テスト前には友達みんなで集まり、睡眠時間を削ってテスト勉強に取り組むこともありました。3年生にもなると、これまでの努力が実を結び、現地の人々とヒンディー語で会話できるようになります。実際にヒンディー語を使って会話ができた時の喜びはひとしおです。インド人学生とスパイシーな料理を食べながらインドを語り合う、なんていうこともできるようになりますよ！

みなさんも、ヒンディー語を学んで未開の超大国「インド」の世界へ飛び込んでみませんか？みなさんのご入学を心よりお待ちしております！

留学体験記　4年　岩瀬　安奈

「人と話すことが好きなら、外国語はどう？」高校の担任の先生のこの言葉がきっかけで、大学ではヒンディー語を学ぶことを選択しました。3年次には生のヒンディー語を学びインドをこの目で見て感じるために、インドの首都デリーにある中央ヒンディー語学院に留学しました。

道を歩けば牛に犬に馬に豚に…。朝は野菜売りの声で目を覚まし、移動にはオートリキシャのおじさんと値段交渉がつきもので、道を行く1台のバイクには4人家族がひしめきあって乗っている…。インドで生活していたら、人の存在がいつも近くにあります。びっくりするけれどあったかい、そんなインドの人に時には呆れ、時には笑いながらの生活でした。

「インドって英語だけで生活できるって本当ですか？」

この質問をたまに受けますが、ぜひ行って確かめてみてほしいと思います。人々の日常生活の中で息づいているのは、やはり現地の言葉です。ヒンディー語で話すことでどれだけ喜ばれ歓迎されることか！ぐっと心の距離が近くなりますし、ヒンディー語を話せる人にしか覗けないインドの姿があります。そして旅行ではなく住むことでしかわからない、グルメも暮らしも、えもいわれぬ感情も、たくさんあります。ヒンディー語を学ぶ意味、ひいては外国語を学ぶ意味を私は留学で見つけた気がしました。しんどいこと楽しいこと、全て自分の糧になりますよ。

受験生の皆さん、一緒にインドを覗いてみませんか。

ウルドゥー語専攻

文学、思想の表現手段として、また、多言語社会をつなぐ共通語の一つとして南アジアで重要な役割を果たしてきたウルドゥー語を基礎からしっかりと学習したい人、ウルドゥー語を通じてウルドゥー語圏の言語、文学、文化、社会を深く研究したい人を歓迎します。

パキスタンの新郎新婦

ウルドゥー（Urdū）語は、パキスタンの国語です。インドでも主要言語の一つに数えられています。文字はアラビア文字を用いますが、インド・ヨーロッパ語族に属します。

ウルドゥー語は、インド亜大陸を支配したイスラーム教徒たちの用いていたペルシア語の大きな影響を受けて形成された言語ですので、アラビア語やペルシア語の単語が非常に多く含まれています（ペルシア語はアラビア語の影響を受けましたので、ペルシア語には数多くのアラビア語の単語が含まれています）。ですから、ウルドゥー語を習得すると、日本人が中国語の文章の内容を推測できるように、アラビア語やペルシア語の文章の内容をある程度推測できるようになります。また、ウルドゥー語を勉強すると、ヒンディー語やパンジャーブ語など、他の南アジアの言語に関する知識も身につけることができます。

入学すると、1年次から集中的に文法を学びます。会話と発音はパキスタン人の先生が担当します。2年次には中学・高校レベルの教科書を読み、3・4年次には関心に応じて、文学、文化、社会、経済などに関する専門的な授業を選択します。

南アジア研究には英語の文献が不可欠ですが、南アジアの人々の、英語の資料には現れてこない声を聞くことの大切さを学んで欲しいと思います。

パキスタンの小学4年生用のウルドゥー語教科書

「アッサラーム・アライクム」

السلام عليكم

学生の声　2年　藤田 ななえ

アッサラーム・アライクム！　皆さん、こんにちは。ウルドゥー語専攻の藤田ななえです。

「ウルドゥー語ってどこの言語？」――そう思ったあなた。この数百字でウルドゥー語について知ってもらいましょう。

まず、ウルドゥー語とは南アジアの言語で、文字はあの右から書くアラビア文字です。ここまでで「あ～、需要なさそう…」そう感じた人もいるでしょう。しかし、ウルドゥー語を国語にしているパキスタンの人口は約2億人、ウルドゥー語がよく通じる、お隣のインドの人口は約12億6千万人なのですよ。しかも、南アジアの人々は世界中に移り住んでいるので、ウルドゥー語は世界で使える大言語なのです！

ウルドゥー語を学ぶと、日本ではあまり知られていない南アジアの独特な文化を知ることができます。この文化を知っているとはまだまだ言えませんが、外見の美しさだけでなく一つ一つ意味の込められたあの音楽や建築物が私は大好きです。

先生方は個性的な方ばかりで、毎日笑いながら楽しくウルドゥー語を学んでいます。

また、学生生活では何より仲間が大切ですよね。私たち2回生は入学してまだ1年ですが、少人数であることもあり、クラスメイトみんなが本当に良き仲間！と言えるようになりました。

さて、ウルドゥー語に少し興味をもってもらえましたか。こんなにも魅力溢れるウルドゥー語を一緒に学びましょう！　お茶目でお髭の素敵なマルグーブ先生も待っていますよ。

留学体験記　4年　田村　天真

私はウルドゥー語を学ぶために、7ヶ月間、パキスタンのムルターンという町に留学しました。私が留学中体験したことでまず頭に浮かぶのは断食です。ムスリムたちはラマザーン月の約1ヶ月間、日中は何も口にしません。ラマザーンの時期は毎年ずれていくのですが、昨年は年間で最も暑い時期の断食となりました。最初は挑戦したのですが、最高気温50度にもなる酷暑の中、喉をやすりでこすられるような渇きの前では、異文化学習も向学心もたやすく吹き飛びました。「体が資本」という大義名分の陰で、友人たちの羨望の眼差しから隠れて飲んだ水の味は生涯忘れません。

暑さは同時に恵みももたらします。世界最高のマンゴーです。太陽と大地の箱入り娘、トロピカル中のトロピカル・フルーツ――言葉で表せないほど甘く美味しいのです。農園の貯水池に飛び込み、次々と投げ込まれるマンゴーを食べる。あの時の私は世界で一番幸福な人間でした。30個ほどのマンゴーを堪能した翌日、腹痛で一日寝込むことになりましたが、後悔はしていません。マンゴーはウルシ科なので食べすぎはよくない――そんなことも身をもって学べる国、それがパキスタンなのです。

言葉を知らなくてもマンゴーの美味しさはわかります。あるいは壮麗なモスクに感動することだってできるでしょう。しかし、マンゴーを振舞ってくれた人の気持ちやモスクに行く人々の思い、これらは全て言葉を通してのみ表現されるものです。言葉を学ぶということは人を理解するということです。人間好きな皆さんはぜひ、外国語学部にお越し下さい。

アラビア語専攻

日本語も含めた世界の言葉に限りない関心を寄せ、言葉が織り成すあらゆる現象を理解するためにあくなき探求心を燃やし、異文化への遥かな道のりを自分の足でたゆまず歩んでいける人を希望します。

カイロ下町風景

イスラム教徒は1ヶ月の間、一切飲まず食わずで断食する。──まだ本当にそう思っている人がいるかも知れない。アラビア語はイスラムの聖典『コーラン』の言語で、アラビア半島から北アフリカまで広大なアラビア語使用地域を旅するのに、『コーラン』を知っていれば困らずに済むなんて、そんなことを大真面目に説く社会の教科書もありました。アラビア語が世界で一番むずかしい言葉の1つだとかまことしやかな、ありがたくない褒め言葉（？）もいまだにあとを絶ちません。

「何語勉強してるの？」「アラビア語」「へー、珍しい言葉やってるんだネ」。統計では母語話者数でアラビア語がスペイン語に次いで5位だと聞いて、エッと驚き、フランス語は14位だと聞いて、エエッと2回驚くでしょう。大リーグじゃあるまいし、世界の言葉をつかまえてmajor/minor呼ばわりする気はさらさらありませんが、わざわざ悠久の人類史をひもとくまでもなく、この話者数の単純な数字を見ただけで、アラビア語を「珍しい」と見ることが、今どき（いや、ずーっと昔から）いかにズレた認識か分かるはずです。

さあ、重たい上着を脱がせましょう。1枚1枚神話と伝説のよろいを剥ぎとりましょう。「珍しい」とか「特殊」とか、そんなレッテルを貼りたがる人たちの手からアラビア語をとり戻しましょう。魔法の呪文と魔法の絨毯で幻想の世界へ遊ぶためだけがアラビア語ではない。書庫の薄暗がりでランプの明かりを頼りに古文書を読み解くためだけがアラビア語ではありません。泣いて笑って怒ってしょげて、暑ければ暑いと言い、痛ければ痛いと言う「素顔」のアラビア語を学びましょう。単語を覚えてイディオムを増やし、動詞の活用に慣れ、構文の規則を理解し、努力すれば努力しただけ必ず報いてくれる「等身大」のアラビア語を「等身大」のまま、サンサンと降り注ぐ過剰なほどに明るい陽光のもとで。

カイロ大学正門

カイロ大学中庭

「アハラン・ワ・サハラン」

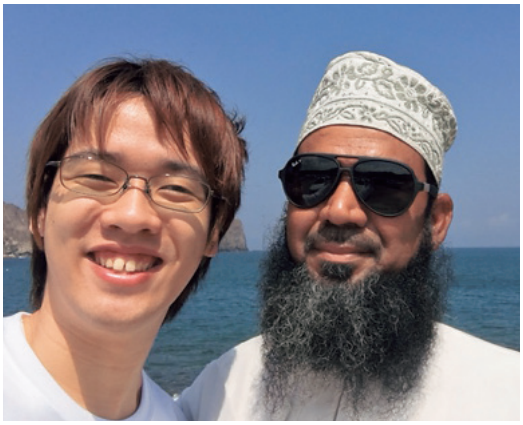
أَهْلًا وَسَهْلًا

学生の声

3年　小山　稔史

受験生の時、「アラビア語専攻に入りたい」というと多くの人にびっくりされました。友だちには「そんな言葉やってどうするん」と言われ、先生には「ほんまにアラビア語？」と言われました。大学で英語やフランス語を勉強しているといっても誰も驚きませんね。でも「アラビア語を勉強しています」というとびっくりされます。こちらも同様にその反応に驚きます。日本ではアラビア語を勉強している人は多くはありません。

では、アラビア語を学ぶとよいことはあるのでしょうか。アラビア語をはじめて3年目になりましたが、今思うことは「視野を広げられること」です。そもそも、外国語を理解できると、得られる情報が格段に増えます。アラビア語の場合、それを理解できるのは日本ではわずかな人数です。ここがポイント。なぜならほとんどの人はアラビア語を知らないのですから。ちょっとお得な気がしませんか。アラビア語を通して得た知識やモノの見方・考え方は確実にみなさんの人生を豊かにしてくれることでしょう。同じモノでも言語や民族が違うと見方が異なってきます。異なった視座から物事を捉えることは、本質を理解する上で極めて重要です。



正直、アラビア語の学習はとても大変です。すごく時間がかかります。しかし、その先には勉強を頑張った人しか得られないものがたくさんあります。アラビア語専攻に入学した暁には、ぜひアラビア語と正面から向き合って勉強してみてください。

留学体験記

4年　山本　虎明

僕はチュニジアの首都チュニスでおよそ10か月間過ごしました。皆さんには「アラブの国は危ない」というイメージがあるかもしれませんが、そうでない地域もアラブにはたくさんあります！

チュニジアでの生活ではいつも驚きばかりで、刺激的なものでした。多くの人々で賑わうスーク（市場）や、話し声が絶えず町の人々がサッカー観戦をするカフェなど、日本のそれとは全く異なるものでした。さらにチュニジアの人々は、僕が外国人であるにも関わらず気さくに話しかけてきて、日本との違いに驚きました。各家庭で羊を決められた方法で屠り、神に感謝を捧げてそれを皆で食べる犠牲祭や、日中は食べたり飲んだりしてはいけないラマダーンなど、日本ではなかなか体験できないようなイベントも直に経験し、本やネットだけではわからない独特の雰囲気を肌に感じることができました。

勉強面ではもちろん苦労することも多々ありました。初めは授業の内容をほとんど理解できず、お店などでのちょっとした会話でもわからないことだらけでした。ですがそこで挫けずに勉強を続けることで少しずつアラビア語を理解できるようになっていきました。そして勉強したことをすぐに実践できるのも留学の良さだと思います。

留学では様々な価値観や文化、雰囲気に触れることができました。留学での経験は日本でも活きていて、留学をして本当によかったなと感じています。

ペルシア語専攻

ペルシア語の着実な運用能力を身につけ、言語を基盤にイランおよび西アジアの文化と社会を深く探究しようとする、知的好奇心にあふれた人を求めています。

シェイフ・ロトフォッラーモスク（イスファハーン）

ペルシア語はインド・ヨーロッパ語族に属し、英語やドイツ語などとは親戚関係にある言語のひとつです。その言語資料の歴史はかなり古く、古代ペルシア語は紀元前6世紀以降アケメネス王朝の王たちが碑文で用いたのに始まります。

私たちが勉強するのはイランがイスラム化された7世紀半ば以降、９～10世紀にかけて文章語として確立された近世ペルシア語です。この言語は、イスラムの影響で、文字はアラビア文字を用い、大量のアラビア語の単語が借用語として入ってきています。

ペルシア語はもともとはイラン南西部の一方言でしたが、イラン文化の発達と拡大に伴い、中世にはイランだけでなく、東は北インド、アフガニスタン、西はトルコ、北は中央アジアにわたる広大な地域で公用語、学術語として用いられ、イスラム世界においてアラビア語に次ぐ重要な地位を占めました。その名残が現代のタジキスタンのタジク語やアフガニスタンの公用語の一つであるダリー語です。これらの言語は、名称こそ異なれ、実体はペルシア語です。

また、多くの優れた文学作品がペルシア語で書かれました。ゲーテは散文学の古典『カーブースの書』やハーフェズの抒情詩集を耽読し、その啓発を受けて『西東詩集』が生まれたと言われています。とくに詩文学に優れ、19世紀のフィッツジェラルドの英訳で世界中に名声を博したオマル・ハイヤームの『ルバイヤート（四行詩集）』、フェルドウスィーによる英雄叙事詩『王書』、イラン人がもっとも愛好するサアディーの『薔薇園』など世界文学史上に名を留める名作が数多くあります。

イラン文化は東西文化交渉史においても大きな活躍をしています。シルクロードを経てイラン文化が日本に渡来し、少なからざる影響を与えたことはもはや常識となっています。美術では、建築、庭園、陶器、絨毯にも名品が少なくありません。

こうした豊かな伝統に支えられたイラン文化をペルシア語の学習を通して学んでいきます。

「サラーム」

سلام

学生の声　3年　山根　香穂

こんにちは。ペルシア語ってどんな言語でしょう？主に中東の国イランで話されていることばです。文字は、あのうねうねとした文字を用いますし、ふだん日本で生活しているとめったに見聞きすることのない言語でしょう。ですが、文字さえ覚えてしまえば文法や発音はさほど難しいわけではないため、とても勉強しやすいのです。また、ことばを学ぶということは、そのことばの話されている国や地域の歴史や文化も学ぶことでもあります。ですから、かつて一大文化圏を築いたペルシアの歴史やその文学なんかも楽しむことができます。

私たちのいるペルシア語専攻は、他専攻に比べてもヨコはもちろん、タテのつながりもとっても強いです。まず新入生歓迎の春の遠足にはじまり（この遠足は先生も一緒です！）、夏まつりに秋の語劇など、上下関係を越えて存分に楽しめ、かつ仲良くなれるイベントがたくさんあります。

私は3年生を迎える春に語学研修のため実際に同級生の人たちとイランへ行きましたが、日本とは違う街並みの中で出会う人たちは気さくで優しい人たちばかりで、治安もよく、バーザールではペルシア語もたくさん使うことができ、とても良い経験を得られました。これはペルシア語に限らずですが「知らないことを知り、それを理解できるようになる喜び」というものは計り知れないものがあると思います。みなさんもぜひ、その喜びを魅力いっぱいのペルシア語専攻で感じてみませんか？

留学体験記　4年　前田　晃佑

私は2015年8月からからおよそ半年間、イランの首都テヘランに留学していました。大学2年生の時初めてイランを訪れ、拙いペルシア語で一人旅をした際に自分のペルシア語の未熟さ、イランという国の魅力を強く感じ、イランへの留学を決意しました。イランへ留学するという話を聞くと「危なくはないか」と考える人が大半だとは思いますが、実際にはそんなことはなく、およそ半年間非常に充実した日々を過ごすことができました。

テヘランでの日々は出発前に想像していたよりもはるかに快適でした。豚肉が食べられない、インターネットの速度が非常に遅いなど日本と比べれば不便だと感じることももちろんありましたが、夏には海水浴、冬になると標高4000メートルでのスノーボードなど、日本と変わらず過ごせる部分もたくさんありました。

平日には毎日学校に通い、私と同じようにペルシア語を学びにテヘランへやってきた学生たちとともに授業を受け、授業のない日は友人たちとイラン国内のさまざまな街へ旅行するといった生活を送り、イランだけでなくその他の国の文化や人々の考え方に触れることができたと感じています。

イラン留学に挑戦しなければできなかった経験、出会えなかった人々の全てが私の貴重な財産となりました。この冊子を読んでいるあなたがペルシア語の門を叩くことを心から願っています。

トルコ語専攻

本トルコ語専攻では、トルコ共和国の言語・文化や社会に強い関心を抱き、その母語であるトルコ語の習得への強い意欲を持ち、高い目標を実現すべく努力を怠らない人を望みます。また将来的にトルコ語を用いてトルコ系諸国の言語や文化、さらには社会について深く学びたい人、さらには自らの考えや思いをトルコ語で発信したいと思う人を求めます。

世界遺産「スルタンアフメト・モスク」

ボスポラス海峡をはさんで、アジアとヨーロッパの両大陸にまたがる国トルコは、日本の2倍強の国土を有し、そこにはおよそ7500万人の人々が住んでいます。

トルコ共和国の公用語であるトルコ語とはどんな言葉なのでしょうか。トルコ語は、いろいろな意味で英語とは違うところの多い言葉です。そのためか、ヨーロッパなどでは、トルコ語は難しいと言われることがあります。では、私たちにとってはどうでしょうか。もちろん外国語ですから簡単なわけはないのですが、それほど難しくはないと言ってもいいでしょう。発音は取っつきにくい点もありますが、比較的早い時期に慣れることができるでしょう。単語の語形変化も規則的で、何ページもある不規則動詞の活用表の暗記に苦しむ、ということはありません。そして、何と言ってもうれしいのが語順です。トルコ語の基本語順は、主語－目的語－述語の順番で、日本語と同じです。前置詞や関係詞などはなく、日本語の助詞のようなもので文法関係を表します。また、文字がローマ字であることも、学習しやすい点のひとつです。

トルコ語は、系統的には、中央アジアで話されているウズベク語やウイグル語やカザフ語、シベリアで話されているヤクート語などと親戚関係にあります。

授業科目を簡単に紹介しておきますと、1・2年生ではトルコ語実習が中心となります。3・4年生では、上級トルコ語、トルコ語文法研究、トルコ文学、トルコ民族史などをはじめとする専門的な授業が組まれています。

社会人となる前に、私たちの専攻で、青春のエネルギーをぶつけて自己形成に挑戦してみませんか。

パジャパー（カッパドキア）

「メルハバ」

Merhaba

学生の声

4年　冨田　遥

Herkese merhaba!（みなさん　こんにちは！）

みなさんは、トルコときくと、どのようなことを思い浮かべますか？伸びるアイス、ケバブ、モスク等をイメージする方が多いと思います。しかし、トルコの魅力はそれだけではありません！トルコは、3つの海に囲まれヨーロッパとアジアの交わるところに位置しているので、まさにヨーロッパとアジアの2つの特徴を兼ね備えている国なのです。また、親日国としても知られています。実際に私がトルコに訪れたとき、まるで昔からの友人であったかのように歓迎してくださり、トルコ人の優しさや温かさを感じることができました。

ここで少しトルコ語についてお話します。―トルコ語はどんな言葉なの？―おそらくみなさんが疑問に感じていることだと思います。実はアルファベットが使用されているのです！さらに驚くべきことに、日本語と語順が似ており、発音も比較的簡単で、トルコ語は日本人にとって非常に習得しやすい言語なのではないかと私は思っています。専攻語のクラスは一クラス、かつ少人数で編成されているので、疑問に思ったことがあれば質問しやすい環境になっており、みんな楽しく勉強しています。

近年、急速に成長しEU加盟の動きでも注目されておりトルコの魅力は尽きません。多様な文化、おいしい食べ物、温かい人柄に触れられるこの素敵な国で話されている言語を一緒に学んでみませんか？皆さんとお会いできる日を楽しみにしています！

留学体験記

4年　平野　裕紀

私が留学していたのは、トルコ・イスタンブールのボアズィチ大学です。トルコを代表する国立大学で欧米やアフリカ、中東の各国からの留学生も多く、様々な出会いがありました。メインのキャンパスはボスポラス海峡のほとりにあり、アジア大陸とヨーロッパ大陸をまたぐボスポラス大橋を眺めながら登校するという優雅な毎日を過ごしていました。この大学でトルコ語から日本語への翻訳を学びました。

生活という観点から話をすると、トルコという国は私にとって暮らしやすい国でした。トルコの方々は外国人に対してとても親切です。日本人の私にも興味津々で、町中で多くの人が話しかけてくれました。そういった、人との普段のおしゃべりでトルコ語が格段に上達したように思います。また世界三大料理のひとつで、肉料理を中心とするトルコ料理は日本人の口に良く合い、どの料理も本当においしいです。

その他、課外活動としては、イスタンブール日本語弁論大会や日本領事館による日本文化紹介イベントにスタッフとして参加し、多くのトルコの人と交流を深めることもできました。休暇にはトルコ国内を旅し、各地の魅力を肌で感じました。

文化の豊かさ、人々の温かさ、料理のおいしさ、歴史的遺産、トルコ語の面白さなど、その語られるべき魅力の尽きない、このトルコという国に留学して本当に良かったと思います。今ではイスタンブールが私の第二の故郷として常に自分の心のなかにあります。

スワヒリ語専攻

スワヒリ語専攻では、東アフリカのスワヒリ語のみならず、広くアフリカの言語や文化、そしてアフリカが直面する同時代的な問題について学んでいきます。アフリカの言語に関心がある人はもちろんのこと、アフリカを通して世界のグローバルな問題について考え、取り組んでいきたい人を歓迎します。

キリマンジャロの雄姿

アフリカには2000近くの言語があります。その中でも、スワヒリ語は最も主要な言語の一つです。スワヒリ語は東アフリカの共通語として、タンザニア、ケニア、ウガンダなど10カ国以上で話されており、話者数は7千万人を超えています。タンザニアとケニアの公用語であり、東アフリカ諸国の学校教育やマスメディアで用いられている重要な言語です。

本専攻は日本で唯一、学部からスワヒリ語を専門科目として学ぶことができるところです。そして、スワヒリ語を入り口としてアフリカの言語や文化、社会や政治について広く学んでいきます。

スワヒリ語の他に、ナイジェリアの主要な言語であるヨルバ語やハウサ語、コンゴ民主共和国のリンガラ語やコンゴ語などを学ぶことができます。また、アフリカの社会や政治経済、文化、文学などに関する講義科目があり、現地でフィールドワークをおこなっている多彩な研究者から、アフリカのさまざまな民族や社会の様子を知ることができます。ゼミでは、アフリカの諸問題や言語・文化について、各自が興味をもつテーマを選び、みなで議論する中で考えを深め、卒論へと仕上げていきます。

アフリカは現在55カ国を数え、急速な経済発展を見せる一方、植民地時代の負の遺産を背負ったまま、貧困や政情不安、紛争など多くの問題を抱えています。グローバル時代の現代にあって、遠く離れている日本も、アフリカの現状は決して無関係なものではありません。アフリカを深く理解し、アフリカとの関わり方を考えていくことが、国際社会の一員である私達にも求められています。スワヒリ語を学ぶことから、その第一歩を踏み出してみませんか。

スワヒリ語専攻はみんな仲がいいよ（語劇祭にて）

「ハバリ ガニ？」

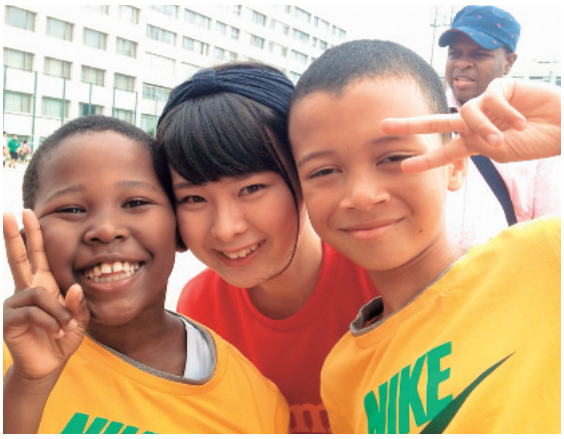
Habari gani?

学生の声　4年　田川　里奈

メディアを通して知るアフリカは、自然と「貧困」、「戦争」、「可哀想」などのネガティブなイメージになりがちです。私も入学する前は、少なからずそのようなイメージを持っていました。しかし、そんな陳腐なイメージや常識を覆すことができるのがスワヒリ語専攻の最大の魅力だと考えています。私は学生生活を通してこの魅力を肌身で感じてきました。日々の授業では、スワヒリ語だけでなくアフリカの様々な地域の言語や文化、歴史、社会について見聞きして、学ぶことができます。特に、「割礼」について授業で初めて知った時は衝撃を受け、深く考えさせられるとともに自分の無知さを反省しました。

また、外国語学部やスワヒリ語専攻ならではの行事もあります。外国語学部の行事である夏祭りではスワヒリ料理を振る舞うお店を出したり、語劇祭では自分たちで脚本作りや翻訳をしたスワヒリ語の劇を行ったり、アフリカに関するワークショップを行う授業もあります。スワヒリ語専攻の新入生歓迎パーティーでは、二年生が主体となって作ってくれるスワヒリ料理を味わうことができます。スワヒリ料理は絶品で、味覚においてもスワヒリ地域に魅了される学生は多いです。

このように、メディアだけでは到底知り得ない深遠な「アフリカ」を、五感をもって体感することができ、時にその魅力を表現し、発信することができることを幸せに感じます。



ザイナブ先生のお子さんと、夏祭りにて

留学体験記　4年　足立　満輝

「スワヒリ語専攻だったらアフリカに留学に行くの？」という質問をよく受けましたが、私の答えは“Non!”でした。私はフランスのアルザス地方、ストラスブールという町で1年間フランス語を学びました。フランスを選んだ理由は、アフリカ文学の授業で西アフリカのセネガルという国（旧フランス領）について調べたところ、スワヒリ語圏のタンザニアやケニアとは全然違う環境だと知り、フランス語圏のアフリカについてもっと知りたいと思ったからです。スワヒリ語専攻はアフリカに関することなら何でも学ぶ機会があるのが大きな魅力です。

語学学校に9カ月間通い、フランスの政治経済や時事、ドイツ語などを勉強しました。休日はワイン街道や教会巡り、演劇鑑賞にドイツへ自転車でお買い物と、毎週どこかへ出かけてフランスの生活を満喫しました。また友人の紹介でNHK文化センター主催の日本文化博覧会というイベントで菅原道真の末裔の方の通訳を任されたのもいい思い出です。

留学の集大成として、帰国前にヨーロッパ11か国を旅行した後、念願のセネガルを訪れました。フランス語を勉強したおかげで、奴隷貿易に関する史跡巡りをして歴史を深く学ぶことができました。そして卒業論文を書くための良いモチベーションになりました。この専攻に入ったからこそ、このような経験ができたと思っています。

「星の王子様」の舞台にもなったセネガルの砂漠にて

ロシア語専攻

ロシア語圏の社会、歴史、文化、芸術、そして言語に大いに関心を持って、入学してきてほしい。何よりも、様々なことに好奇心を持ち、自分で考えて、将来専門家として歩む自覚を持っている学生を求めます。

エルミタージュ美術館

日本海を越えれば、そこにはもう広大なロシアの大地が広がっています。歴史的、経済的、政治的にとても深い関係にあるロシアと日本。この二つの国が、これからの世界で互いに脅かすことなく理解し合い、助け合いながら共に発展していくことは、双方の国にとって、そして世界全体にとってとても重要な課題となっています。

また昨今は、最重要な経済パートナーとして日本の産業界はロシアへの関心を高めており、政治、経済、行政等、様々な分野で、ロシア語能力を持つ人材が広く求められており、卒業生の活躍の場はどんどん広がっています。

ロシア語専攻では、外国語学部でもいち早く統一教材を用いた、総合授業システムを採用しています。総合授業システムとは、話す、聞く、書く、読むというロシア語の4技能を総合的に学習し、全体として、学習言語による実際的な活動を可能にする異文化コミュニケーション・行動能力を高めることを目指すシステムです。クラスは少人数制で、学年ごとの「到達度目標」に従って授業は進められます。

また、ロシア語能力検定試験を導入し、客観的な評価基準による単位認定を行っています。

後期課程(3･4年生)では、ロシアの文学･歴史･経済･言語といった専門分野の研究に加え、ビジネスロシア語などの高度なロシア語運用能力を育成する授業も開講されており、将来、ロシア語を使った専門職に就くための準備も積極的におこなっています。

みなさんも私たちと共に勉強して、「ロシア」という未知の扉をたたいてみませんか？

日露首脳会談2013年4月29日、モスクワ(ロイター)

「ズドラーストヴィチェ!」

ЗДРАВСТВУЙТЕ!

学生の声　3年　井上　裕貴

みなさんはロシアにどんなイメージを持っていますか？フィギュアスケート、バレエ、マトリョーシカなどを思い浮かべる方もいれば、北方領土やウクライナ問題などに関する報道によりネガティブな印象を持っている方もいるかもしれません。私はロシアに対して「大きくて寒い不思議の国」という漠然とした印象を抱いていました。長らくソビエトという特異な体制下にあったためか、我々"旧西側"の人間からするとロシアの行動には理解しがたい点がたくさんあります。

「ロシアの人たちには世界がどう映っているのだろう」

こう思った高校生の私は、大阪大学ロシア語専攻を選びました。この疑問は今でも大学で学んでいく上で大切にしているテーマです。

入学後最初の二年間はたっぷりロシア語を勉強します。また、授業以外でも現実のロシアに触れたいと思ったため、1年次には関西日ロ学生交流会というサークルの活動で訪露し、生のロシアを体験しました。さらに2年次では秋のロシア語劇祭を通してロシア人が長年培ってきた精神を学びました。そして、ロシア語を一通り学び終え3年生となった今では、ソ連史を軸にロシアとは何たるかを研究しています。歴史以外にも各々の興味に応じて言語、文化、芸術、経済など幅広い分野を学ぶことができます。

大阪大学ロシア語専攻は私に多くのチャンスを与えてくれました。みなさんも魅惑のロシアの世界に足を踏み入れてみませんか。

留学体験記　4年　平野　美優

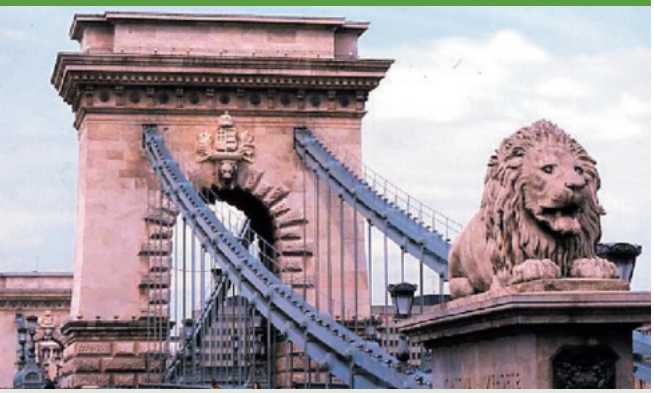
皆さん、「ロシア」と聞いて何を思い浮かべるでしょうか。なんとなく怖い、よく分からない、そんなイメージを持っている人も少なくないと思います。そこで今回は、私が留学を通じて感じたロシアの魅力を、少しでもお伝えできれば幸いです。

私はサンクトペテルブルク大学へ10カ月間留学し、現地の学生とともにジャーナリズム学部で勉強をしました。学生主体の講義に慣れるまでは少し大変でしたが、あらゆる視点で物事を捉えるクラスメートの意見には、日々知的好奇心を刺激されます。自分自身の考えを伝えることは、普段の生活でも大切です。ロシアには議論好きな人が多く、他愛もないことから政治や宗教に至るまで、お酒を片手に夜遅くまで語り合うこともあります。また「お散歩」好きも多く、色んな所へ連れて行ってくれます。バレエやオペラなどロシア芸術を嗜み、美術館で歴史や文化に触れ、週末にはお家へ招待してくれたり、ちょっと遠出をしたりもします。街のいたるところに運河が走る水の都、サンクトペテルブルク。美術館が点在し、多くの建造物が世界遺産に登録されており、芸術の香りが漂う街です。

ロシアは確かに、一見掴みどころのない国かもしれません。しかし、非常に奥深い文化と芸術、ユニークな社会構造、思慮深く心優しい人々など、その中に潜む魅力は底知れません。一定期間現地に滞在する留学では、教科書で学んだ「点」としての知識が文脈の中で見えるようになり、更にその奥深さを感じることができます。皆さんも、ロシアの魅力を感じてみませんか。

ハンガリー語専攻

ハンガリー語とハンガリー語が話されている地域の文化・歴史・社会について深く学び、ハンガリーだけでなくヨーロッパ全般への関心と理解をもち、将来大学で学んだことを生かして積極的に社会で活躍したいと願っている人を求めています。



ブダとペシュトを最初に結んだ橋「くさり橋」

ハンガリー語を専攻語として学ぶことができるのは、日本では本学だけです。ハンガリー語は最も新しい専攻語ですが、それでもできてからすでに20年が経ちました。その間に、日本とハンガリーの関係も大きく変わってきました。日本・ハンガリー両国の交流は、1989年にハンガリーが体制転換した少し前から、経済、文化その他さまざまな分野で急速に発展してきました。ハンガリーでの日本語学習熱の高まりもそのあらわれの一つです。ハンガリーは2004年5月にEUに加盟を果たしました。今後、両国の関係はますます発展していくことでしょう。きっと将来、皆さんのなかから、両国関係のさらなる進展に貢献する人が現れることでしょう。

ではハンガリー語とは、そもそもどんな言葉なのでしょうか。不思議な言語だと言われることがあります。そう言われる理由は、ハンガリー語の文法構造や語彙が、他のヨーロッパの言語と比べて、かなり違っているからです。それで、ヨーロッパの人々から見ると、ときに不可解だと思えるようです。でもヨーロッパの外、たとえば日本から見れば、別に不可解なわけではありません。それどころか、日本語と似た点もあるのです。ハンガリー語では日本語の助詞（てにをは）と同じような働きをする要素（接尾辞）が用いられます。なお、ハンガリー語は系統的にはウラル語族に属しますが、ヨーロッパではほかにフィンランド語やエストニア語もウラル語族です。最初の2年間は、ハンガリー語の習得が勉強の中心になります。3、4年生になると、それぞれの興味にしたがって、ハンガリーの言語学、文学、歴史などについて学ぶことができますが、そのときに、1、2年生のときに身につけたハンガリー語を活かすことが大切になってきます。

ヨーロッパの中で、ちょっとほかとは違う特徴をもった言語と文化を、皆さんも勉強してみませんか。きっと今までとはちがう新しい世界が見えてくることでしょう。

「ヨー・ナポト・キーバーノク」

Jó napot kívánok!

学生の声　4年　井藤　亜美

Sziasztok!（みなさんこんにちは！）みなさんはハンガリーと聞いて何を思い浮かべるでしょうか？ハンガリーは人口1000万人ほど、国土は日本の1/3ほどの国です。首都のブダペシュトは世界遺産であり、ドナウ川の夜景は世界の観光客を魅了し続けています。私もサマースクールで初めて行ったブダペシュトに魅了された一人です。決して大きくはない国ですが、発明も多く、ルービックキューブも実はハンガリー人の発明です。2012年のロンドンオリンピックのメダル獲得数も意外と日本より多く、世界で9位でした。今年のリオデジャネイロオリンピックでも少し注目してみてください。知れば知るほど奥の深い魅力がある国だと思っています。

私たち大阪大学外国語学部ハンガリー語専攻は日本で唯一ハンガリー語を主専攻として学ぶことのできる大学です。一学年20人弱の少人数で勉強しており、多くの人が留学を経験します。奨学金をもらって留学するチャンスがあり、二年次には多くの人がサマースクールへ行きます。仲はとてもよく、先輩後輩との交流もあります。留学や就職に関して、同じ専攻の先輩が親身に相談に乗ってくれ、とても心強く感じています。授業は、一、二年生でみっちりハンガリー語を勉強し、三年生からは身に着けたハンガリー語を使って勉強していきます。言語学や政治、経済の授業の他に、映画に字幕をつける授業があったりして、勉強することもたくさんありますがとてもおもしろいですよ。

留学体験記　4年　梅本　健広

皆さん、留学と聞いてどんなイメージがありますか？成績上位の人しか行けなさそう、お金がかかりそう、そもそも生活が大変そう、などなど難しいものとしてとらえている方が多いかもしれません。でも安心してください！ここ、ハンガリー語専攻では、やる気のある方なら誰にでも留学の道は開かれています！私も最初は、留学は大変なものだと思っていたのですが、せっかくの学生生活、思いきって挑戦しようという事で1年間の留学を決意しました。

私が行ったのは、ハンガリーの首都ブダペスト、その中心部にあるエトヴェシュ・ロラーンド大学です。ここにはハンガリー人の学生が多く通っていますが、それだけではなく、様々な国からの留学生も集まっている国際的な大学なのです。初めは数多くの外国人に囲まれ、日本人として積極的になれない事もありましたが、そこは異国の地、中世の頃の町並みが息づく道々を吹きすさび、だだっ広い大平原へと駆け抜ける風が私を変えてくれたのです。エリザベートの時代から続く洋菓子店、共産党時代に動乱に巻き込まれた映画館など、歴史がそのままの形でいたるところに残っているのもハンガリーの魅力の一つだと思います。

この文章を読んでいるという事は、少しでもヨーロッパの暮らしに憧れたことがあるのではないですか？そんな皆さんの夢や目標に挑戦できるのは、ここハンガリー語専攻以外にありません！やる気に満ちた皆さんをお待ちしております！

「ゴデー」　「ハイ」

Goddag!　Hej!

（くだけた言い方）

学生の声　3年　畑中　大樹

こんにちは！ここではデンマーク語専攻の良い点を紹介したいと思います。

デンマーク語専攻の1番気に入っているところはその人数の少なさです。例年約20人の学生がデンマーク語専攻に所属していますが、この少人数でほぼ毎日授業で会い、共に行動していると自然とみんなと仲良くなっていきます。私の学年では男子4人女子15人というかたよった比率ですが男女関係なくみなで仲良く、箕面キャンパスでの“夏祭り”や“語劇祭”などの様々なことを経験しながら楽しい思い出をたくさん作ってきました。

人数が少ないことの利点は友達と仲良くなれるということだけではありません。人数が少ないと先生との距離も近く、発言したり質問したり、留学等の相談に乗って頂いたりしやすいと感じてきました。文法の授業では疑問に思ったことをすぐにその場で質問してみなと共有でき、ネイティブの先生の会話の授業では間違いを恐れずに発言することができます。言語を学ぶことだけが外国語学部の目標ではありませんが、自分の興味のあることに関して知識を深めていくために言語力は必要で、そのためにはそのような授業の環境はとても有益だと思います。

まだまだみなさんに紹介したいデンマーク語専攻の良いところはたくさんあります。ここには学生生活、未来をより有意義にできる環境があると自信を持って言えます！

留学体験記　4年　矢野 満里絵

本冊子を眺めてはデンマークに思いを馳せ、受験勉強に励んでいたことを懐かしく思いながら、受験生の皆さんにメッセージを届けられることを、大変嬉しく思います。

私は10ヶ月間、デンマークで留学生活を送りました。

教育先進国であるデンマークの教育現場を実際に体験したいと考え、前半の4ヶ月間は教育大学でデンマーク教育を学びました。週一回、現地小学校で教育実習も体験しました。子ども達は、戸惑いながらも、日々触れ合うことで、徐々に心を開いてくれました。また、デンマーク教育への関心を周囲に伝えると、授業見学や生徒へのインタビューなど大学の授業を飛び越えた貴重な体験をすることができました。子どもから大人まで、デンマーク人の寛大な心が身に染みた4ヶ月でした。

後半の6ヶ月間は、Folkehøjskoleで音楽とダンスを学びながら寮生活を送り、デンマーク人と24時間生活を共にしました。最初は伝えたいことが上手く伝わらず、落ち込みました。しかし、先生や友人が粘り強く私とデンマーク語でコミュニケーションをとり続けてくれたおかげで、自分の気持ちをデンマーク語で共有できるという喜びを味わうことができました。

デンマークは、情熱や一生懸命さを伝えることでその想いに応え、新しいチャンスをどんどん与えてくれる国です。皆さんもデンマークという小さな国で、自分にしかできない留学生活を過ごしてみませんか。

デンマーク語専攻

デンマーク語の習得に強い意欲をもち、それを駆使してデンマークの言語・文学・社会・歴史のいずれかを積極的に探求しようとする人。

森の中での自然保育

デンマーク語専攻、スウェーデン語専攻は最初、1966年4月に大阪外国語大学デンマーク語学科として開設され、1985年4月にはスウェーデン語課程が加えられデンマーク・スウェーデン語学科となりました。そして、2007年10月から大阪大学外国語学部デンマーク語専攻、スウェーデン語専攻として新たにスタートしました。国立大学では唯一の北欧に関する教育機関です。教育の対象は、デンマーク、スウェーデンを中心とする北欧の言語、文学、社会、歴史です。2年次までは専攻とするデンマーク語またはスウェーデン語の一方を集中的に学習します。「読み、書き、話す」に同じ比重が置かれ、外国人教員は最初の段階からデンマーク語もしくはスウェーデン語のみで授業を行ないます。また、最初の1年間はデンマーク語の学生、スウェーデン語の学生が他専攻あるいは他学部の学生たちと一緒に受講する北欧事情の講義もあります。また、2年次にはデンマーク、スウェーデンの文学、社会、歴史に関する概説的な講義もあります。3年次になると、自分の関心分野に応じて、言語、文学、社会、歴史いずれか1つの特別演習（ゼミ）を選択することになります。授業を担当するのは、デンマーク、スウェーデンそれぞれ言語、文学、社会、歴史を専門とする教員です。ちなみに、3・4年次ではもう一方の言語やノルウェー語、古アイスランド語も学習することができます。

外国語の学習は元来積み重ねですから、予習・復習は絶対に欠かせません。十分予習した上で授業に臨まないと、学習効果は上がりません。デンマーク語とスウェーデン語は、ノルウェー語、アイスランド語、フェーロー語とともに北ゲルマン語を構成しています（北ゲルマン語は英語、ドイツ語、オランダ語などと系統的に近い関係にありますが、北欧地域圏で話されているフィンランド語やグリーンランド語はまったく別系統の言語です）。北ゲルマン語はフィンランドの一部を含めると北欧では約2千数百万人によって使用されています。このうち、デンマーク語、スウェーデン語、ノルウェー語の3言語の話者の間では、時には多少の困難があるにせよ、それぞれの言語を用いて相互に意思の疎通ができます。したがって、これらの1言語を会得すれば、他の2言語もかなりの程度まで理解できます。文字の特徴としては、英語で使われる26のアルファベットの他に、デンマーク語・スウェーデン語・ノルウェー語には、å（3言語共通）、æ、ø（デ、ノ）、ä、ö（ス）があります。北欧の言語を理解できる人は日本には多くありません。新入生はパイオニアの意気込みをもって励んでもらいたいと思います。そして、福祉制度や民主主義が確固と根をおろしている北欧の国々を深く知ることによって、世界を複眼↗

スウェーデン語専攻

スウェーデン語の習得に強い意欲をもち、それを駆使してスウェーデンの言語・文学・社会・歴史のいずれかを積極的に探求しようとする人。

カール・フォン・リネーのハンマルビー別邸（ウップサーラ郊外）にて

的に展望し、文化はもちろん、国際情勢もグローバルな視点から把握する能力を身につけてほしいと思います。

北欧を実地体験して理解する１つの手段として留学や現地での夏期語学講座参加も大いに考えられましょう。デンマーク語を専攻する学生たちの場合は、デンマーク政府の奨学金（９～10ヶ月間）による国費留学生として、毎年日本から５名デンマークに留学できますが、本学からは１～２名がこれに合格しています。また、２・３年生のときにデンマーク政府の短期奨学金（２週間）を得て、現地でデンマーク語の夏期講座に参加する学生も毎年３～４名います。さらに私費でフォルケホイスコーレという自由な学校に半年間、あるいは１年間留学する学生も若干名、また、夏季に私費でフォルケホイスコーレにおいてさまざまな種類のコース（デンマークの文化と言語、工芸、ダンス、音楽など）に参加する学生も多数います。

一方、スウェーデン語専攻でも、私費になりますが、主として３年次になると８月の中旬から翌年の６月中旬まで自ら進んでスウェーデンのフォルクフーグスコーラに留学する学生が多くいます。また、毎夏スウェーデンで開催される３週間程度のスウェーデン語サマーコースに大学の夏休みを利用して参加し、スウェーデン語をブラッシュアップする学生たちもいます。コースはスウェーデン政府の海外スウェーデン語教育支援機関Swedish Instituteにバックアップされているため、短期とはいえ内容は充実しています。ところで、このSwedish Instituteより本学のスウェーデン語専攻は長年の日本におけるスウェーデン語教育・研究を高く評価され、「2007年スウェーデン語教育・研究大賞」を授与されました。

なお、本学はデンマークのコペンハーゲン大学ならびにスウェーデンのイェーテボリ大学と学生交流の協定を結んでおり、毎年コペンハーゲン大学、イェーテボリ大学へ若干名の学生が留学することができます。2010年には南デンマーク大学人文学部と部局間協定が結ばれ、デンマークの留学先の幅がさらに広がりました。

卒業生はメーカー、商社、金融機関、旅行社、マスメディア、北欧資本の大企業、公務員、教育研究機関、北欧各地の日本大使館や駐日の北欧の大使館などで活躍しています。また、卒業後さらにデンマークおよびスウェーデンの語学、文学、現代社会、歴史について研究を続けたい人は本学大学院言語文化研究科言語社会専攻へ進学することも考えられましょう。

みなさんが、今後日本における北欧学の最先端の役割を担うことを期待しています。

「ゴダー」 「ヘイ」
Goddag!　Hej!
（より日常的な挨拶）

学生の声　3年　片井　優花

スウェーデン語を勉強していると、ことあるごとに「どうしてスウェーデン語を勉強しようと思ったの?」と尋ねられます。私自身、この専攻への進学が決まった当初は親戚や近所の人、高校のクラスメイト、美容院のお姉さん、とにかくいろいろな人からこの質問を受けました。私は単純に言語が好きで、スウェーデン語という言語そのものに興味を抱いて入学してきたのですが、クラスメイトに尋ねてみたところ動機は本当に様々。例えば「社会福祉に興味がある」「北欧デザインが好き」「北欧のメタル音楽が好き」「スウェーデンの児童文学を原書で読みたい」などなど…“スウェーデン語”専攻といえども言語を身に付けるだけでなく、各々の興味関心のある分野を、スウェーデン語を用いて学び、研究していくことができます。3年次以降に配属されるゼミは言語・文学・社会・歴史の4つ。1・2年生の間に基本的なスウェーデン語の運用能力と、北欧の社会・文化・歴史についての基礎知識を身に付け、3年次に自分の興味に基づいてゼミを選びます。

専攻の大半の学生が3年生の夏から10か月程度スウェーデンへ留学をします。入学当初私はあまり留学を考えていなかったのですが、クラスメイトの留学への積極的な姿勢に触発され、私もイェーテボリ大学への留学を決めました。スウェーデンという国を身近に意識しながらスウェーデンを学べる、とても楽しい専攻です。

留学体験記　4年　黒坂　謙太

僕が留学していたのは、スウェーデン西部の小さな町ユンシーレにある、フォルクフーグスコーラという成人教育機関。私費で通い、寮に住んでいました。雑誌もテレビも掲示板もスウェーデン語です。僕はそこで、いわゆる高校レベルの勉強をし、スウェーデンの行事を楽しんだりみんなで一緒にサッカーしたりしていました。

その町は「海と山の出合う場所」という異名の通り、山の緑と海の青、そして赤い屋根の家々が美しい風景を織りなす場所で、その風景を眺めながら食事をするのが、毎日の楽しみでした。

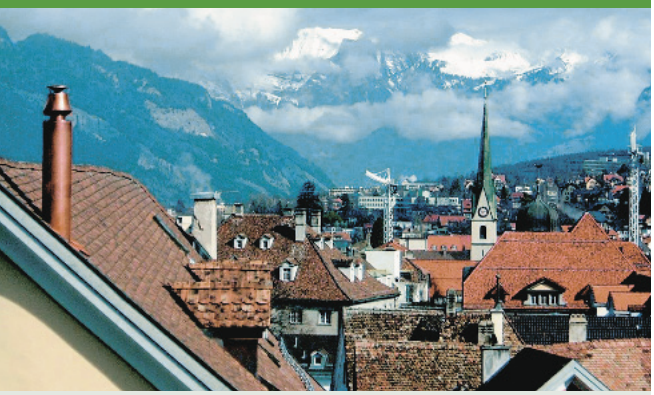
行き先に関係なく、留学において多少のつらい体験はつきものですが、スウェーデン特有のつらい体験といえば、「越冬」でしょう。寒くて暗い日々にどうしても参ってしまう人が多いです。でも、それはスウェーデン人も同じなのでご安心を。それに、一緒に留学している同級生がおり、留学をサポートしてくれる先生方がいます。ときには、スウェーデンの大発明品Skypeを使って家族や友人と日本語の時間を楽しむのもいいでしょう。

スウェーデンの田舎町「オーサカ」にて

スウェーデンは素敵な国です。いいところばかり、ではありませんが、それでも素敵な国です。僕は今でも留学していた10ヶ月を、幻でも見るような気持ちで思い出します。今これを読んでくれているあなたといつか、スウェーデンの思い出を共有できる日が来たらいいなと思います。

ドイツ語専攻

ドイツ語を本格的に学びたい人、ドイツ語圏の歴史や文化を学ぶことをとおして現代ヨーロッパ社会への理解を深めたいと思う人、ドイツ語圏の国々で生活したり働きたいと思う人を歓迎します。



ドイツ語は、ドイツだけでなく、スイス、オーストリア、リヒテンシュタインなどの中部ヨーロッパの国々に住む1億人ほどの人々が母語として用いている言語です。その他にもチェコ、ハンガリー、ポーランド、ロシアなど東欧諸国においては、英語に劣らず重要視されています。数あるヨーロッパ諸言語の中でも、ヨーロッパの文化や学問の形成に深く関わってきた言語であるといえます。また現在、ドイツはEU（ヨーロッパ連合）の有力な一員であり、経済やエコロジーの分野で世界的レベルの重要な役割を果たしています。ドイツ語の学習を通してこのようなすぐれた文化や社会に触れることができます。

ドイツ語専攻では、日本人8名、ドイツ人1名の教員を擁し、その他にも10数名の日本人、ドイツ人、スイス人の講師がさまざまな授業を担当しています。ドイツ語専攻に入学すると、まず前期課程の2年間は文法・作文・購読・会話・LLなどの科目によって、ドイツ語とドイツ語圏の文化に関する基礎知識を学びます。ドイツ語の言語的知識とコミュニケーション能力を鍛錬する科目と並んで、講義や購読において、ドイツ語圏の社会・文化・言語などに関する知識を深め、3、4年生におけるドイツ語圏文化研究のための土台を築くことになります。

3、4年生（後期課程）では言語、文学、文化、思想、歴史などといった多彩な分野の演習科目が用意されており、自分が関心を持つ学問分野をベースキャンプとして選択し、そこで専門的知識を深め、学生生活の総決算である卒業論文を作成します。またこれと並行して関連する研究科目および会話や作文などのドイツ語運用能力を高める科目も必修科目となっています。このように整備されたプログラムと高い専門性を備えたドイツ語専攻を卒業した後は、ドイツ語のスペシャリストあるいはドイツ語圏の国々で活躍できるエキスパートとしての将来が皆さんを待ちうけています。

「グーテン・タ－ク」

Guten Tag!

学生の声　3年　中西　温子

私自身まだドイツ語や、ドイツ語圏地域の文化、社会等を勉強している最中でその魅力を探求中ですが、魅力の一つに「ドイツ的内面性（Innerlichkeit：インナーリッヒカイト）」というのが挙げられるのではないかと思います。ドイツ的内面性とは、例えば、繊細な感情、心の深遠さ、非世俗的キリスト教的なものへの没入、自然への敬虔さ、思想と良心へのこの上ない純粋な真剣さ、などが挙げられます。自然への敬虔さという一面は、例えば、現代でいえば、自然、森や緑を大切にしようという政党（緑の党）がヨーロッパで初めてドイツで生まれたというところで見られ、また思想と良心への真剣さという側面は、ドイツ哲学、もっと人間の精神的なものについて言及するドイツ人の哲学で現れています。他にも、その内面性は、深遠で意味深い音楽や、疾風怒濤とドイツ・ロマン主義の文学などで具現化されていたり、もしかしたら堅実で面白くないとたまに言われるドイツサッカーにも現れているのかもしれません…。

また、このドイツ的内面性が実現された背景には、ルターの宗教改革に遡ることができ、聖書の翻訳によって、それまで音でしか存在しなかったドイツ語の発音に別の言語の文字、ラテン語の発音を当てたことによって「ドイツ語」が生まれたわけですが、この続きの話は、ぜひこの専攻を選んでみてからになるでしょう。

留学体験記　4年　村上　千月

「2年間学んだドイツ語を使いこなせるようになりたい」と大学3年次留学を決めました。

人生初の海外に心躍らせましたが、留学先では想像以上に悔しい事の連続でした。ドイツ語を話す私に向かって頑なに英語で話してくる人。寮のルールが理解できず破ってしまい厳しく注意された事。映画が理解できず周りに合わせて笑っていたこと。

このままじゃだめだ！とできる事から始めました。まず部屋の扉に自己紹介をドイツ語で書いて貼り、毎日共有のキッチンで料理をしました。共有部屋に人の気配があると行って話しかけました。徐々に一緒に料理をしようと誘われたり、コンサートに誘われたりするようになりました。

また、寮での生活以外でもSNSや寮の張り紙から情報を集め、留学生による勉強会、大学が提供する運動クラブ、寮のパーティー等、毎日新しい場所に飛び込み、音楽バンドやバイトにも挑戦しました。こういった生活の中で気づけば「いつものメンバー」に囲まれていました。毎日学食で会ったり、大学の映画上映会に毎週行ったりするようになりました。一番感動したのは私の送別会に35人の友人が来てくれた事です。

帰国の際には友人たちが手作りアルバムを贈ってくれ、「ドイツには『人は皆、必ず再会する』ということわざがある。次に出会うときも、いつも笑顔で何にも恐れないあなたでいて」と言われました。その瞬間、この一年を通し自分は壁を越えることが出来たのだと実感し、留学に来てよかった、と心から思いました。

英語専攻

実社会・世界で活躍できる高度な実践的英語運用能力を涵養するとともに、英米の言語、文学、文化、歴史、政経、国際ビジネスの各分野において専門的知識を身につけ、自らの主張を明確に発信しようとする学生を求めています。

グローバル化が進む現在、英語は、あらゆる領域においてインタラクティヴに最新の情報を交換するコミュニケーションに不可欠な世界言語として、極めて重要な役割を果たしています。

英語専攻は、グローバルに活躍できる高度な実践的英語力と専門知識、そして自らの主張を明確に発信できるコミュニケーション能力を備えた人材を育成することを目標にしています。この目標に向かって、1、2年次に、徹底した語学実習により高い英語運用能力を養い、3年次進級要件となる基準レベル（TOEIC 730点、英検　準1級等）を上回る英語力を涵養するとともに、言語学的に見た英語の姿、英語圏の文学・文化についても幅広い知識を身につけます。進級後の3、4年次では、ネイティブ教員によるDiscussionの上級クラス、Essay Writing、同時通訳を含む多様な専攻語科目により、さらなる英語運用能力の強化を図ります。

また3年次から専門的研究授業を受講するとともに、文学・文化系、言語系、歴史・政経系の中からゼミを選択。卒業までの2年間、ゼミで、専門書購読、調査・研究、プレゼンテーション、討論により専攻領域への理解を深め、英語による卒業論文の執筆が研究の集大成となります。

外国語学部英語専攻の最大の特徴は、プラクティカルとアカデミックの両面で卓越した英語運用能力があってはじめて成立する国際水準の最先端の学問を追究するという点です。そのためにも、皮相的な英語力ではなく、将来を切り開くうえで大きな糧となる思考能力、教養ある国際人が持つ高度なコミュニケーション能力の習得が期待されます。

前身の大阪外大の徹底した少人数教育によって鍛え上げられた英語専攻の卒業生は、商社、製造、金融、流通、運輸、マスコミ、観光、通訳・翻訳、官公庁、教育など、多方面で活躍しています。大学院に進学し、研究者として活躍している人材も少なくありません。優秀な卒業生を輩出してきた外大の伝統を受け継ぎ、いっそうの飛躍を遂げる英語専攻は、皆さんの入学を心よりお待ちしています。

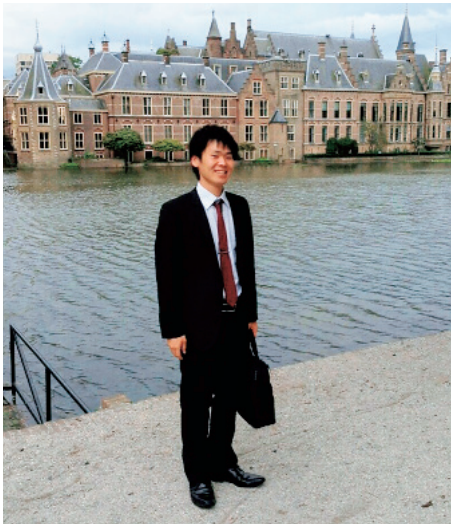
Good Morning / Afternoon / Evening. Hello / Hi!

学生の声　4年　安井　康祐

みなさん、こんにちは。英語専攻に関心を持ってくださってありがとうございます。以下では3点、私が大阪大学の英語専攻を選んで良かったと思う理由に関して書きたいと思います。みなさんの進路選択の助けになれば幸いです。

①大阪外国語大学×大阪大学という強み：専攻語の必修授業では、大阪外国語大学の伝統を受け継ぐ少人数制のクラスで「読む・聞く・書く・話す」の4分野をバランス良く伸ばせます。また、留学生と共に英語で受講する国際交流科目や、大阪大学の他学部の授業を受講することも可能です。

②課外活動の選択肢の多さ：大阪大学の交換留学制度を利用して、私はフィリピンへ留学しました。各国を代表する大学が交換留学の協定校であるのも大阪大学の強みです。また、日蘭学生会議のメンバーとしてオランダを訪問しました。他にもインターンやサークル・部活動など、様々な過ごし方ができます。



③人の魅力：英語専攻には全国から英語が得意な学生が集まってきます。そんな同級生と切磋琢磨しながら英語力を伸ばせます。さらに、少人数制のクラスで一緒にテストや課題などを乗り切る中で、同級生との仲が自然と深まりました。

以上、私が英語専攻を選んで良かったと思う理由を3つ挙げました。これらは他の大学と比べても遜色のない強みだと思います。最後になりますが、みなさんの受験の成功、そして、その進学先が大阪大学の英語専攻であることを願っています。

留学体験記　4年　田中　陽乃

私はアメリカのジョージア州アトランタにあるジョージア州立大学に10か月間交換留学をしました。CNNやコカコーラの本社が大学から徒歩圏内で、また空港利用者数世界一のアトランタ国際空港も電車で20分という場所であり、世界の中心にいるような気持ちで過ごしていました。大学では主にアメリカ史やプレゼンテーションの授業を受講し、膨大な量のリーディング課題をこなすのは苦労しました。思い出深いのはプレゼンを終える度に多数のクラスメイトが 'You did a great job!' と褒めてくれたことで、「英語で伝える」ことが出来るようになったと実感しました。

学業以外の面ではコミュニティーづくりに注力しました。学生3万人中日本人留学生が私1人であり、当初は右も左も分からず大変苦労しました。そのためSNSで友人を募ったり、学生に日本語を教えるアルバイトを通じて仲間を増やしていきました。特に印象的なのはアメリカで一般的なコミュニティーである教会に毎週通ったことです。日本では教会とは無縁でしたが、バプテスマ（洗礼）を見るなど、空想の世界を現実で体験したことは大変貴重な経験になりました。

留学はあらゆる面で自分を成長させてくれる非常に良いチャンスです。苦労も多いですが、同時期に留学していた英語専攻の多くの仲間にも支えられて無事留学を終えることができました。皆さんも是非、勇気を出して留学にチャレンジしてみて下さい。きっと忘れられない素敵な経験になりますよ！

フランス語専攻

フランス語専攻では、フランス語やフランス語圏の文化（文学、思想、歴史、政治、経済、芸術など）に関心があり、その正しい知識と理解を深めたいと思っている人を求めています。

ロワール渓谷のシュノンソー城

フランス語は、中世の時代より現在に至るまで、芸術や思想を生み出す支えの言語として、ヨーロッパ文明において重要な役割を担ってきました。フランス文学は中世の「ロランの歌」などに代表される叙事詩や吟遊詩人達による叙情詩から、スタンダール、フローベール、ユーゴー、プルーストなどの近代、現代の小説に至るまで、世界でも他に類を見ない多様で豊かな創造的世界を生み出してきました。哲学者のデカルトやパスカル、ルソー、サルトルといった名前も皆さんにはおなじみのことと思います。フランス語を使って生み出された文学作品や哲学書は膨大な数にのぼります。

またフランス語は、フランス本国以外にも、ベルギー、スイス、カナダといった欧米諸国、あるいはカメルーン、コートジボアール、コンゴなど、かつてフランス領やベルギー領であったアフリカ諸国の一部でも公用語のひとつとして使われており、およそ1億の人たちがフランス語を話していると言われています。そして国連をはじめ、EUやユネスコなどの国際機関においても公用語のひとつとなっています。あまりに英語偏重の今の日本ですが、世界中を飛び交う情報の中で、英語で流される情報はその一部でしかありません。複数の外国語を学んでおくことは、視野を拡げ、他者をよりよく理解し、今のこの世界における様々な事柄に関してより的確な判断を下すためにも、これからの私達にはぜひとも必要な作業なのではないでしょうか。

私達はフランス語とフランス語が培ってきた芸術や文化の魅力とその有用性を伝えるべく、中世の時代から現代に至る文学、歴史、文化、言語学などできる限り多種多様な分野の授業を用意して、皆さん方の期待に応えたいと考えています。

セーヌ河岸のルーブル宮

「ボンジュール」

BONJOUR!

学生の声　3年　国方　美希

Bonjour!（こんにちは！）突然ですがみなさんはフランス語の単語をどのくらいご存じでしょうか？フランス語なんて全然知らない…という方が多いかもしれませんが、コロッケ、クロワッサン、ミルフィーユなど、日本で日常的に耳にする言葉が実はフランス語だったりするのです。このようにフランス語は日本でも多く使われていて、意外に親しみやすい言語です。

さて、ここで私の中でのフランス語の一番の魅力をご紹介しましょう。それは、響きがとてもかわいいところです。そもそもフランス語で「かわいい」は“mignon”といい、ミニョンと発音します。これがもうすでにかわいすぎではないでしょうか！フランス語専攻を選ぶと、もれなくこのかわいい発音と美しく繊細な文法を学べ、そしてそれを携えて素敵なフランス語圏の世界の扉を開けることができ、非常に魅力的です。

長々と語ってきましたが何が言いたいかというと、私はフランス語が大好きです。毎日みっちりフランス語を学び、フランス語圏に想いを馳せ、街中でフランス語を見かけたら同じフランス語専攻の友達ときゃあきゃあ言ってしまう、そんな日々がとっても好きです。

私の文章を読んで少しでも（あっフランス語専攻いいかも…）と思ったそこのあなた！きっとそのカンは間違っていませんよ、全力でお待ちしております。

留学体験記　4年　佐々木 達弥

私は世界史でお馴染みの、アルザス地方にあるストラスブール大学に留学しました。ここは映画「ハウルの動く城」のモデルにもなっている、大変色彩豊かな所です。

私の場合、フランス語力を伸ばしたいという漠然たる動機で、留学を決めた面も大きいです。しかし、やはり最終的には、フランスの文化や慣習を実際に肌で感じてみたいという思いがインセンティブとして私を留学へと駆り立てたのだと思います。

留学を通して得たものは新しい知見です。具体的には、勤勉な日本のそれとは全く違うフランスのスタイルです。年に何度もバカンスがあり、文字通り、人生を謳歌しているフランスの生活スタイルにはとても惹かれるものがありました。また、和の尊重とは異なる、フランスのおおらかな個人主義的性格にも憧れを感じました。

フランスで出会った友人との日々の交流や、美術館で触れた芸術作品の数々、留学仲間との旅行もかけがえのない思い出です。そういった経験が毎日に彩りを添えてくれました。

留学に行く目標や得たものは千差万別ですが、確かなことは、後悔とともに留学を語る人はいないということです。異国ゆえのトラブルや、自分の能力不足は歯痒いですが、そのどれもが最終的に自分の糧になっていることは間違いありません。ゆえに、留学経験者は口をそろえて、留学してよかったと言うのでしょう。留学という素晴らしいチャンスがここにはごろごろ転がっています。みなさんもぜひ。

イタリア語専攻

多様性と伝統を大切にするイタリアの言語、文学、歴史、社会、文化等に強い関心を持ち、イタリア語の高度な運用能力を身につけて、日本とイタリア両国の相互理解に貢献しようという意欲のある人を歓迎します。

イタリア人で知っている名前を挙げてみてと言われたら、みなさん、どう答えるでしょうか。サッカー選手のトッティ、映画俳優／監督のロベルト・ベニーニ、靴のサルヴァトーレ・フェラガモなどの名前が挙がるでしょうか。ちょっと詳しい人なら、ダンテやラファエロ、ガリバルディ、マリア・カラス、あるいはベルルスコーニといった名前も挙がるかもしれませんね。

イタリアは、芸術、文学、音楽、ファッション、サッカー、映画など、様々な分野で個性的な才能を輩出してきた地域です。イタリア語を学ぶということは、このような多様な文化領域にアプローチするうえで非常に有効です。例えば、ミケランジェロの彫刻に興味があるという場合、ミケランジェロが書き残した手紙などを自分で読むことができたら、作品を理解するうえで大きな手がかりとなりますよね。また、劇や映画に関心があるという場合、台本・脚本を自分で読んで、役者の台詞の話し方やそのニュアンスまで理解することができれば、作品を見るうえで大いに役立つでしょう。

ただ、どんな言語にもいえることですが、一つの外国語を修得することは決して容易な話ではありません。イタリア語の場合、発音は非常に分かりやすいのですが、文法には少々厄介なところがあります。例えばイタリア語の名詞には、必ず男女の性別があります、treno（列車）は男性名詞、piazza（広場）は女性名詞といった具合に。面白いでしょ？

1・2年次には、そのような点を含めてイタリア語の基礎をしっかり身に付けることになります。3・4年次には、習得したイタリア語を駆使して、様々な専門分野の授業に参加することになります。大学の授業は決して簡単ではありませんが、幸いなことに、語学の習得は、努力すれば必ずそれだけの報いがあります。みなさんと一緒に学ぶのを、私たちも楽しみにしています。

中部イタリア、世界遺産の街ピエンツァ

「ブォンジョルノ」

Buongiorno

学生の声　4年　金澤　信武

Ciao, bello!（やあ、イケメン君！）私がイタリアのバールに入ると、いつものおばさんがこうあいさつをしてくれます。イタリアでありふれている日常は、どこをとってもまるで映画のワンシーンのようです。素敵な建物、カフェのテラス席でワインを飲みながら談笑するおじさんたち、写真で見た有名なあの風景、などなど。そんな国イタリアでイタリア語を使い、映画のワンシーンの中に溶け込んでみる、こんな体験をしてみたいと思いませんか？

イタリア語専攻では、最初の1年間でみっちり文法や会話表現などイタリア語の基礎を勉強します。ある授業では文法を習い、また別の授業ではネイティブの先生と会話をするので、どちらの能力も並行して伸ばしていくことができます。日本語とはかけ離れている言語なので最初は戸惑うこともあるかと思いますが、基本的にはローマ字読みをすれば単語を読むことができます。そして2年目からは、少しずつイタリアに関する専門的なこと（歴史や文学など）を学び始めます。

またイタリア語専攻の先生はイタリアに関するイベントを紹介してくれたり、時には開催してくれたりと私たちの勉強の環境をしっかりと整えてくれるので、熱意のある人はぐんぐんイタリア語が上達していくと思います。（おいしいイタリアンのお店が知りたい人には、教授が選りすぐりのお店を教えてくれるかも…）

イタリア語に限ったことではありませんが、言語を学ぶ上で一番重要なことは間違いを恐れず話す勇気です。ぜひ勇気を持って、そして楽しくイタリア語を勉強してほしいと思います。そして是非実際にイタリアに行き、本当のイタリアを肌で感じてほしいです。

留学体験記　4年　岩田 三志朗

楽しく、陽気に！

私は4月から11月までの約7か月間イタリアのミラノで生活しましたが、私の留学はちょっと変わった体験だと思います。私は語学留学ではなくて、ミラノ万博というイベントの日本館のアテンダントとして働いていました。

最初のうちは上手く話せなくて歯がゆい思いもしました。「なぜしゃべれないやつがこんなところにいるんだ」とも言われました。しかし、同僚は全て日本人で、寮も同僚とのルームシェアで、イタリア語を話せなくても生活できるという状況でした。私はこのままではまずいと思い、休日にはなるべく一人で旅行をしたり、カフェの店員と話すようにして、イタリア語を使う環境を自分で作りました。

旅行や出先ではイタリア人はとても親切で、ゆっくりと、わかるまで話してくれるので、助かりました。彼らはとても陽気でおしゃべりなので、話題に尽きることもなく、とても楽しく言葉を学べました。また、若者文化を知れたのも大きかったです。この楽しくというのが良かったのか、どんどんと言葉が分かるようになり、仕事でもそれが生きて、来場者と冗談を言い合ったり、時には口論になったり、仕事の面でも充実した毎日を過ごせるようになりました。

イタリア料理が好きという理由で選んだ専攻ですが、今思えば最高の選択だったと胸を張って言えます。きっかけは人それぞれだと思いますが、最後にはきっとその国が大好きになると思います。特にこの魅力にあふれたイタリアなら。

スペイン語専攻

スペイン語を意欲的に習得し、学んだスペイン語をとおしてスペイン語言語学はもとよりスペインの文学や歴史、その他スペイン語圏の文化一般に関する知識を積極的に身につけ、スペインおよびスペイン語世界について総合的に理解したいと希望する人。

トレド全景

スペイン語は、スペインのみならず、アメリカ合衆国の一部およびメキシコから南米のチリ、アルゼンチンに至るまでの実に広大な空間（ブラジルを除く）で、3億人以上の人々によって話されている言語です。スペイン語の重要性は、国連の公用語の一つとされていることからも明白です。話される地域が広く、話す人の数も多いという事実は、今日の国際社会において、私たち日本人がスペイン語と接する機会がますます多くなることを意味します。スペインおよびスペイン語世界は、様々な意味で大いなる可能性を秘めた魅力溢れる世界であり、「スペイン語はそれを知る人の未来を開く」と言っても過言ではありません。

もちろん、スペイン語を知っているだけでは十分ではありません。スペインおよびスペイン語世界の文化一般に関する知識を総合的に身につけていることが肝要です。しかし、それは並大抵の努力でできるものではありません。あくまでも努力目標であり、それに近づくために、まずは個々の分野の様々な知識を正確かつ着実に身につけていくことから始めなければなりません。スペイン語専攻の授業も、限られたスタッフと時間のなかで、そのために組まれています。皆さんに課せられた使命は、1、2年次において、スペイン語を正確に「読む、書く、聞く、話す」能力を身につけ、それを駆使しさらに磨きつつ、3、4年次において、スペイン語学やスペイン文学、スペイン史、イスパノアメリカ文学などの専門的な多くの知識を学び、それを土台に各人が自己の価値観をとおして独自のスペイン観もしくはスペイン語世界観を構築することです。

スペインおよびスペイン語世界を総合的に理解するには、少し控えめに言って、その文化一般を知るには、スペイン語の習得が不可欠であり、逆に、文化を知らなければ真の意味でのスペイン語の習得もあり得ないということを肝に銘じて下さい。そして、スペイン語世界のことなら何でも知ってやろうという貪欲な気持ちで、4年間の勉学に励んでもらいたいと思います。皆さんには、可能性と魅力溢れるスペイン語世界が開かれています。

アルハンブラ宮殿ライオンの中庭（グラナダ）

聖家族教会（バルセロナ）

「ブエノス ディアス」
Buenos días
（午前中から昼食までの挨拶）

「ブエナス タルデス」
Buenas tardes
（昼食後から暮時までの挨拶）

学生の声　4年　岡部　優樹

¡Hola a todos! 皆さんがスペイン語と聞いて連想するものは何でしょう？スペイン料理でおなじみのパエリヤ、アヒージョ、中南米がよく舞台になるインディ・ジョーンズ、サッカー好きの人ならメッシでしょうか。しかしそれらに限らず、スペイン語専攻ではもっと多様性に富んだ世界が皆さんを待っています。

1、2年生で言語の基本となる文法、会話、スペインの歴史、文化などの基礎知識を学び、その知識を土台に3、4年生では文学、言語学、歴史学といった専門分野に分かれて研究を深めていきます。

この専攻の魅力の1つは、原語で研究書や文学作品を読むことによって、スペイン語圏の文化や歴史を知ることができることです。中南米の小説や、古代文明の研究論文などを通して、ミステリアスな世界に触れたり、スペインの演劇作品や詩を読んで、それぞれの時代に生きる人々の姿に想いを馳せ、そこに今の時代でも変わらない価値観や人間感情などを見つけたりすることで、学ぶ楽しさが倍増します。また日常生活において、スペイン語でラジオを聞き、映画を観た時の「あ、わかる！」というワクワク感に、気がつけば夢中になっている自分がいました。

確かに予習や課題は少々ハードですが、情熱的で個性的な先生方の指導のもとで確実なスペイン語力が身に付きます。

スペイン語を駆使してグローバルに活躍したい人、スペイン語圏の文化を深く研究したい人、それらの夢が叶うだけではなく、様々な可能性が広がるスペイン語専攻に¡Vamos!

留学体験記　4年　福本　清香

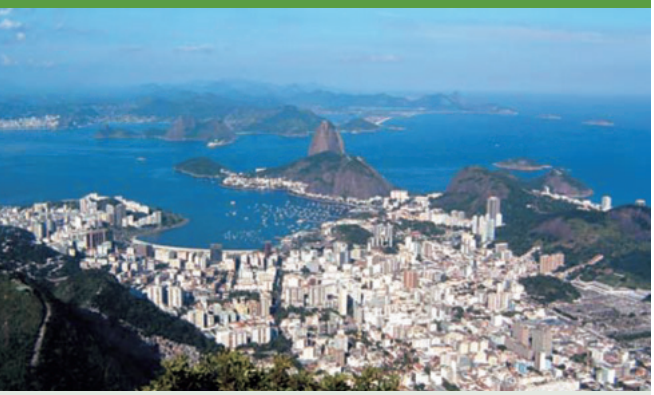
私は南米のペルーに留学しました。ペルー・カトリック教皇庁大学で、現地の学生とともにペルーの歴史や考古学、人類学、ケチュア語（土着の言葉）などの授業を取っていました。最初は教授のスペイン語が理解できず苦労しましたが、教授やクラスメイトの助けを得て、徐々に理解できるようになりました。この大学は留学生を受け入れる体制が非常に整っていて、留学生2、3人に対して1人の現地学生がチューターのようについて渡航前から後までフォローしてくれました。彼らのおかげで、いろんな不安を解消してもらってから留学することができました。

また、ペルーで書道教室の講師を依頼されたので、ボランティアとして月に2回、日本語学教室の生徒に書道を教えていました。今まで日本では書道を教えた経験はありましたが、スペイン語で教えるとなると、表現がとても難しく、始めは全くうまく説明ができなかったので、友達などに助けてもらいながら、いろんな表現を勉強していきました。最終的には、日本語を勉強したことないペルー人に向けての書道イベントに講師として招かれ、50人以上のペルー人に対して最初から最後までスペイン語で書道について説明できるようになりました。

このように留学を通してスペイン語も上達したので、旅行で出会った人や大学の友達、留学生仲間とも自然に会話ができるようになり、政治・宗教などの深い話もスペイン語でできるようになりました。

ポルトガル語専攻

ポルトガル語の高度な運用能力を身につけたいという熱意のある人。ポルトガルやブラジルの言語や文学、文化や歴史に強い関心をもち、習得したポルトガル語を駆使してそれらを探求しようという意欲のある人。



ブラジルのリオデジャネイロ市の景観　中央の岩山が「パン・デ・アスカル」

ポルトガルはユーラシア大陸の最西端に位置し、12世紀にイスラム教徒からの「国土回復運動」の過程で独立国としての第一歩を踏み出しました。その後、ポルトガルが「大航海時代」の先駆者として、アフリカ、アジア、アメリカ大陸へと進出した歴史はよく知られています。その結果、ポルトガル語は現在、ポルトガルだけにとどまらず、南アメリカのブラジル、あるいはアフリカの旧ポルトガル植民地5カ国（アンゴラ、モザンビーク、ギニアビサウ、カーボヴェルデ、サントメ・プリンシペ）、また21世紀になって独立した東ティモールなどでも使われており、その話者は2億人を超えています。

本学でポルトガル語を専攻する学生は、1・2年次には、外国人教師による会話の授業を含め、ポルトガル語を総合的に学習し基礎力を身につけます。その後、ポルトガル語圏の言語や文学、文化を勉強することになります。ポルトガルやブラジルというと、サッカーや音楽、格闘技などを思い浮かべる人が多いのですが、それらにとどまらず、各地域の歴史や文学、文化に幅広い関心をもってほしいと思います。また、各自が選択したテーマにしたがい自ら研究を深め、卒業論文を執筆するのも3・4年次の重要な活動になります。

多彩な地域で、数多くの人々によって話されるポルトガル語を勉強することは、視野を広げ、世界の多様な文化を理解し、いろいろな国の人々とコミュニケーションを行ううえで、大きな力になります。皆さんもそのようなポルトガル語を身につけて海外へと大きく飛躍してくれることを期待しています。

「大航海時代」の栄華をいまに伝える
リスボンのジェロニモス修道院（16世紀）

「オラー,コモ・エシュタシュ」
Olá, como estás?
〈ポルトガル〉

「オイ,トゥード・ベン」
Oi, tudo bem?
〈ブラジル〉

学生の声

3年　森田　倫加

Olá. Tudo bem?　こんにちは！ポルトガル語専攻へようこそ！

ポルトガル語はどこで話されているかご存知ですか？ヨーロッパにある、美しい街並みのポルトガルはもちろん、2016年オリンピックの開催地であり、サンバやサッカーの盛んなブラジル、さらに独特の雰囲気が広がるアフリカのモザンビークやアンゴラなどでも話されています。

日本でお馴染みの、こんぺいとうやカステラ、パン、ボタン、たばこなどの言葉が、実はポルトガル語だということを知っていましたか？日本語ともつながりが深いと、その言語を学ぶことに親しみが持てるし、ポルトガル語の勉強がますます楽しくなります。

当専攻では、1年生の時から必修科目としてポルトガル語を基礎から学び、学年が上がるにつれ、ポルトガル語圏の歴史や文学、言語学などを詳しく勉強していきます。多くの生徒が留学に対して前向きに考え、3年生になるとブラジル、またはポルトガルに留学します。

イベントは、毎年7月に外国語学部の夏祭りがあります。私たちの学年は、専攻語のみんなでブラジル料理パステウの屋台を出しました。11月には語劇祭が開催され、専攻語で一体となって、ポルトガル語で劇を演じます。どちらもすごく盛り上がり、これらのイベントを通して、一層仲が深まります。

ポルトガル語専攻の個性豊かな楽しい先輩たちと、陽気なネイティブの先生をはじめとする、優しく丁寧な先生たちといっしょにポルトガル語を学びませんか？

留学体験記

4年　市原 佐和子

私は3年の夏から1年間ブラジルのサンパウロ大学に留学しました。

入学したときからの夢だったブラジル留学。空港に降り立った私はほんの少しの不安と大きな期待で胸がいっぱいでした。

しかし、大学での授業はもちろんすべてポルトガル語。初めは授業がわからず落ち込みました。それでも最後まで頑張れたのは、いつも助けてくれる多くのクラスメイトがいたからです。また彼らの積極的に授業に参加し、非常に熱心に勉強する姿にもとても刺激を受けました。

サンパウロ大学は南米屈指の大学ということもあり、世界中から留学生が集まります。中国、韓国、フランス、ドイツ、スペイン、オランダ、メキシコ、ペルーなど様々な価値観を持つ仲間と一緒に授業を受け、議論を交わす中で、世界への興味がさらに広がりました。

またブラジルは世界で5番目の国土を持つ国です。同じ国内といえども地域によって生活習慣や話し方は異なります。私は休暇の度に国内を旅行しその違いを肌で感じました。どの地域にもそれぞれの魅力があり、まるで違う風景をもつ。でもどんな地域にも共通していることがありました。それは人の温かさです。お年寄りには我先にと席を譲る。目が合えば微笑む。話好きで明るい。

一度訪れればきっとたくさんの魅力を感じるはずです。皆さんもポルトガル語を学び、こんな人たちと冗談を言い合ったり、人生について語りあったり、新しい考え方に触れる楽しさを是非味わってみてください。

日本語専攻

日本語専攻では、外国語を身につけ、外国の事情を知った上で日本語・日本文化を客観的に捉えることに興味のある人、日本語教育に深い関心のある人、外国語を基礎にグローバルな観点から日本を世界に発信する意欲のある人を求めています。

日本語を母語として日常的に使っているみなさんの中には、「外国語学部で日本語を学ぶとはどういうことなのか？」という疑問を抱く人も少なからずいるのではないでしょうか。しかし、ふだん何気なく使っている日本語の中にも、よく考えてみると不思議なナゾがたくさんあります。例えば日本語を学んでいる外国人から、「『バス停に止まる』と『バス停で止まる』の違いは何か」とか、「どうして感謝する時に『すみません』と言うのか」などと聞かれたら、どのように答えればいいでしょうか。

このような問いに答えるには、母語である日本語を外から見つめ直し、他の言語と比べながら考える必要があります。日本語専攻では、日本語学・言語学・日本語教育学・日本文化学の領域にわたって、日本語を外国語のように観察して客観的に見る目を養い、幅広い視野から日本語・日本文化を捉えることのできる人材の育成を目指しています。日本語専攻の学生はそれぞれ、24の言語のうち一つを専攻言語として学ぶことになっています（＊）。外国語を学んだ上で日本語を深く探求できるのは、外国語学部の日本語専攻だからこそできる最大のメリットです。また、日本語専攻には毎年10名の留学生が入学して、日本人学生と共に学んでいるので、教室の中でも日常的に多言語・多文化環境が実現されています。さらに、日本語教育に関心のある人には、教育実習の目的を兼ねた海外派遣や交換留学の機会も設けています。

外国語を身につけて日本を世界に向けて発信したい・日本と世界との交流を通じて社会に貢献したい・外国語の言語能力を活かして日本語教育の現場で活躍したいなど、グローバルな視点に立って日本語と関わり合いたいと願うみなさんにぜひ来ていただきたいと思います。

（＊）専攻言語について
日本人学生については下記の24専攻言語の中から一つ。なお、外国人留学生については日本語。

＜専攻言語＞
中国語、朝鮮語、モンゴル語、インドネシア語、
フィリピン語、タイ語、ベトナム語、ビルマ語、
ヒンディー語、ウルドゥー語、アラビア語、
ペルシア語、トルコ語、スワヒリ語、ロシア語、
ハンガリー語、デンマーク語、スウェーデン語、
ドイツ語、英語、フランス語、イタリア語、
スペイン語、ポルトガル語

学生の声　2年　宮田　瑞穂

「初めまして、日本語専攻2年の宮田瑞穂です」さて、あなたはこの自己紹介を聞いて、どう思いましたか？「私も日本語専攻に入りたい！」―ぜひぜひ入ってください。後悔することなど何もありません。「日本語を大学で勉強するってどういうこと？」―今から魅力を紹介しますので、ぜひ最後までご一読ください。

今読んでいる方の大半は、日本語を不自由なく使えると思います。でも、「日本語を話せる」というのと、「日本語をよく知っている」というのは少し違います。「私は宮田瑞穂です」「私が宮田瑞穂です」この二つの文はどう意味が違うのでしょうか。「美しくない」は正しいですが、「きれいくない」はどうですか？その理由は？

こういう疑問は、日本語を習う外国人の方からどんどん出てきます。その疑問に、答えてあげられるようになるために、そして、普段使っている「日本語」について、より深く知るために、私たちは日本語について日々考えています。

「外国語学部に入ったんだから、外国に行きたい」と思っている方、日本語専攻だって外国に行けますよ。日本語教師として、外国に行くのです。そこでの経験は、自分のためにも、もちろん生徒たちのためにもなります。また違った視点から、「日本語」を見ることが出来るのです。

普段何気なく使っている「日本語」。その中には、たくさんの「不思議」が詰まっています。その「不思議」を探す4年間の旅に、共に出発してみませんか？

留学体験記　4年　萬代　華帆

私は2015年に国際交流基金アジアセンターの「日本語パートナーズ」プログラムに参加し、タイの学校で日本語教師のアシスタントとして日本語教育現場に携わりました。私が派遣されたプレーという町は、タイ北部ののどかな雰囲気が魅力の町でした。田舎で日本人もほとんどいない環境でしたが、学校の先生方や生徒、そして親切な町の人々に助けられ、とても幸せに過ごすことができました。タイの中高生は日本の中高生に比べると少し幼い印象も受けますが、みんな素直で好きなものに一生懸命。教える立場である私も、いつもキラキラした笑顔で「先生！おはようございます！」と声をかけてくれる生徒たちからたくさんのことを学びました。

外国語学部の学生の多くは在学中に海外へ留学します。タイでの生活を通して、海外へ「教わる」立場で行くことと「教える」立場で行くことは全く違うと感じました。もちろん、留学してその国の言語や文化について理解を深めることもとても大切なことだと思います。しかし学生ではなく先生としてその国の人々と関わり、日本人がいない環境で日本の「顔」として生活するという経験は自分を大きく成長させたと思います。また、同時に、日本に興味を持ってくれる人々や日本語を勉強する人々の力になりたいという気持ちはより強くなりました。私はこれからも日本語教師を目指して勉強を続けていこうと思っています。

アドミッション・ポリシー

外国語学部では、自国と外国の言語・文化・社会に強い関心を持つ、
次のような学生を受け入れます。

- さまざまな文化背景を持つ人々とコミュニケーションをとることができる能力を身につけたい人
- 世界の言語・文化・社会に関する専門的な知識を身につけたい人
- 外国語を駆使して、外国の文化や社会の研究をしたい人

外国語学部

- 外国の言語や文化・社会に対する理解を通じて、自国の言語や文化・社会を探求したい人
- 異文化間の対話と相互理解を深める架け橋となりたい人
- 世界的規模の諸問題を解決するために、国際的な協力を推進したい人

言語を通して文化を学び、文化を通して言語を学ぶ

世界25言語の専攻

外国語学部外国語学科は、25に及ぶ世界の諸言語の専攻語教育課程を設け、世界の言語と言語を基底とする地域文化の教育研究の集積拠点として、幅広く、そして深く世界・文化・地域を学ぶことができます。

入学定員

外国語学部	580名
3年次編入学	10名

授与学位　学士（言語・文化）

学部	学科	専攻
外国語学部	外国語学科	中国語専攻 朝鮮語専攻 モンゴル語専攻 インドネシア語専攻 フィリピン語専攻 タイ語専攻 ベトナム語専攻 ビルマ語専攻 ヒンディー語専攻 ウルドゥー語専攻 アラビア語専攻 ペルシア語専攻 トルコ語専攻 スワヒリ語専攻 ロシア語専攻 ハンガリー語専攻 デンマーク語専攻 スウェーデン語専攻 ドイツ語専攻 英語専攻 フランス語専攻 イタリア語専攻 スペイン語専攻 ポルトガル語専攻 日本語専攻

外国語学部のカリキュラム

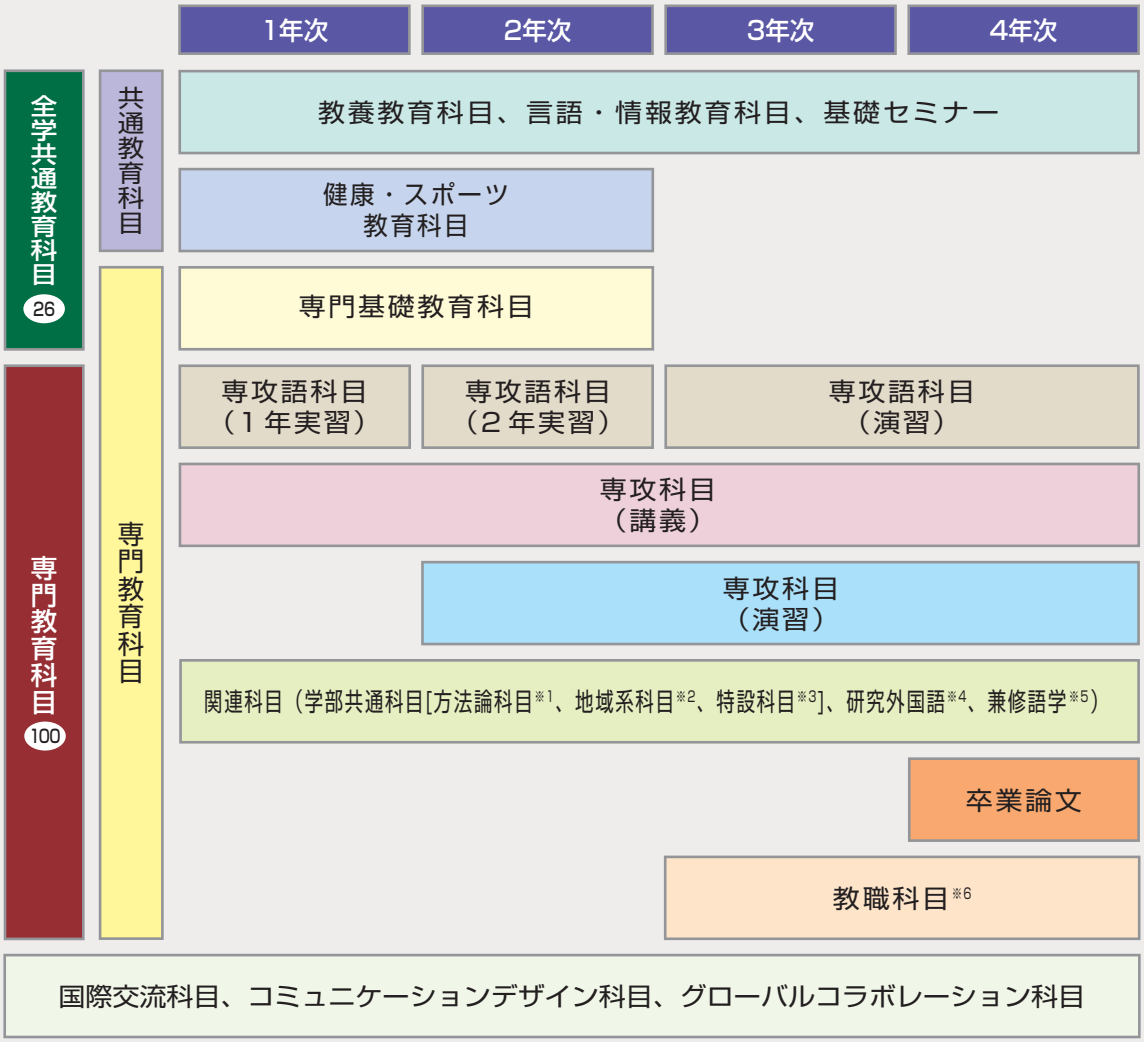
◆カリキュラムの体系は、大きく【全学共通教育科目】と【専門教育科目】に区分されます。

外国語学部では、全学共通教育科目として、「教養教育科目」、「言語・情報教育科目」、「基礎セミナー」、「健康・スポーツ教育科目」、「専門基礎教育科目」を合わせて26単位以上修得することとなっています。

専門教育科目には、「専攻語科目」、「専攻科目」、「関連科目」、「卒業論文」等が配置され、100単位以上を修得することとなっています。専門教育科目の根幹である「専攻語科目」は、1・2年次で履修する実習の科目と3・4年次で履修する演習の科目から構成されます。

なお、1年次に配当される授業は原則として豊中キャンパスで実施され、2年次以降に配当される授業は、箕面キャンパスで実施されます。

◆カリキュラムのあらまし



※1　言語学概論、文化概論、文学概論、芸術史、文化史、国際関係史　等

※2　東アジア言語文化概論、東南アジア社会文化概論、現代アラブ地域概論、アフリカ政治経済講義、北欧現代社会概説、英語国際ビジネスコミュニケーション入門、スペイン文学概論、日本語教育学講義　等

※3　キャリアデザイン論、異文化理解演習　等

※4　アイヌ語、オセアニア諸語、ヘブライ語、西アフリカ諸語、バントゥ諸語、オランダ語、カタルニア語、ガリシア語、バスク語　等

※5　中国語、朝鮮語、アラビア語、スワヒリ語、ドイツ語、英語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語

※6　卒業に必要な単位には算入されません。

就職状況

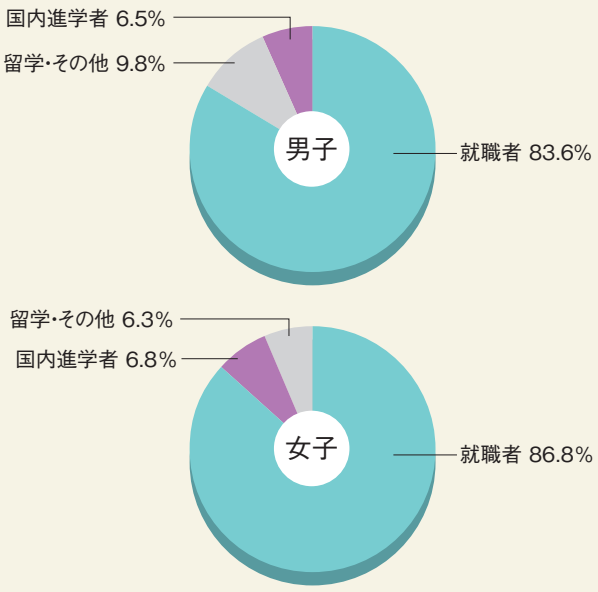
外国語学部を卒業すると

外国語学部の卒業生は、在学時代に培った語学力とそれに基づいた豊富な知識を糧に、社会の様々な分野で活躍しています。大阪外国語大学時代より脈々と受け継がれたOB・OGとの繋がりも卒業生が増すごとに、より強固なものになっています。

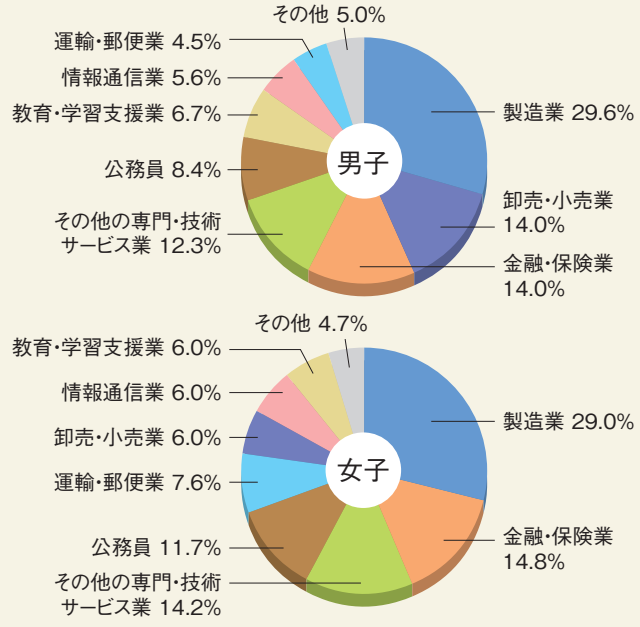
外国語学部卒業生のうち、約80%が就職し、残る約20%が国内の大学院への進学や海外の大学又は大学院へ留学をしています。大阪大学の他の学部と比べても就職希望者の多い学部と言えます。多くの外国語学部生が在学中に経験する短期・長期の留学は、彼／彼女らにとっては社会（世界）へはばたく助走なのかもしれません。

以下のように卒業生の就職先は多業種にわたっています。入学してから自己を見つめなおし、4年間をかけて自分に合った進路を模索していく姿勢を見につけ、理想の就職ができるよう、外国語学部も全力でサポートします。

進路・就職状況（2015 年度卒業生）



業種別　就職者数（2015年度卒業生）



外国語学部卒業生の主な就職先
（2015年度卒業生）

製造業
日立製作所
森精機製作所
トヨタ自動車
日産自動車
住友電気工業
川崎重工業
三菱重工業
三菱電機
パナソニック
富士通
東芝
ダイキン工業
P&Gジャパン
花王カスタマーマーケティング
キリンホールディングス
デンソー
JFEスチール
ヤンマー
ヤマハ発動機
アシックス
森永乳業
村田機械
旭化成

卸売・小売業
住友商事
三菱商事
伊藤忠商事
三井物産
日鉄住金物産
豊田通商
阪和興業
丸紅
ユーシーシーフーヅ
ニトリ
双日

情報通信業
日本電気
共同通信社
NEC
NTT西日本
富士通システムズウエスト
インテック
NHK
新日鉄住金ソリューションズ
読売新聞大阪本社
日本経済新聞社
中日新聞社
日本証券テクノロジー
グーグル
ヤフー
アマゾンジャパン
ソフトバンク

金融・保険業
三菱東京UFJ銀行
三井住友銀行
みずほ銀行
ゆうちょ銀行
りそなホールディングス
近畿大阪銀行
日本政策金融公庫
野村證券
大和証券
SMBC日興証券
三菱UFJモルガン・スタンレー証券
東京海上日動火災保険
三井住友海上火災保険
損保ジャパン日本興亜
日本生命保険
みずほフィナンシャルグループ
ジェーシービー

宿泊・飲食・複合サービス業
JTB西日本
近鉄グループホールディングス
阪急交通社
エイチ・アイ・エス
リクルートホールディングス
サトフードシステムズ
星野リゾート
アパグループ
神戸屋
合資会社親湯温泉

官公庁・教員 等
外務省
財務省
国土交通省
大阪入国管理局
大阪府庁
滋賀県庁
愛知県庁
法務局
近畿農政局
大阪府教育委員会
愛知県教育委員会
神戸市役所
奈良市役所
吹田市役所　　等

大阪大学

交換留学制度

大阪大学外国語学部では、諸外国の119大学及び1大学連合との間で短期交換留学を行っています。この制度で留学すると、本学の授業料を納めておいて留学先の大学で学ぶという形になりますので、留学先の大学で授業料などを払う必要はありません。また、留学先の大学で修得した単位は、本学部の卒業に要する単位に算入することができます。（すべてとは限りません）。なお、奨学金（月額5～10万円：平成28年度実績）の支給を受けることができる場合もあります。

学生交流協定大学

●／大学間　★／部局間　（平成28年7月現在）

【ドイツ】
●ミュンヘンルートゥヴィヒ・マクシミリアン大学
●ミュンヘン工科大学
●アーヘン工科大学
●エアランゲン・ニュルンベルク・フリードリヒ・アレクサンダー大学
●アウグスブルグ大学
●ビーレフェルト大学
●ルール・ボーフム大学
●ゲッティンゲン大学
●ベルリン工科大学
●ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ大学フランクフルト・アム・マイン
★ハインリヒ・ハイネ（デュッセルドルフ）大学
●★ハイデルベルク大学

【スウェーデン】
●スウェーデン王立工科大学
●イェーテボリ大学

【スイス】
●スイス連邦工科大学ローザンヌ校
●スイス連邦工科大学チューリッヒ校
★チューリヒ大学

【デンマーク】
●コペンハーゲン大学
★南デンマーク大学

【フィンランド】
●オーボアカデミー大学

【ノルウェー】
★ベルゲン大学

【オーストリア】
●ウィーン大学

【ハンガリー】
●エトヴェシュ・ロラーンド大学
★カーロリ・ガーシュパールカルビン派大学
★セゲド大学

【オランダ】
●デルフト工科大学
●グローニンゲン大学

【ベルギー】
●ルーヴァン・カトリック大学[UCL]
★ルーヴァン・カトリック大学[KU Leuven]

【連合王国】
●リーズ大学
●シェフィールド大学
●ノッティンガム大学
★ロンドン大学

【ウクライナ】
★キエフ国立大学

【ミャンマー】
●ヤンゴン大学

【フランス】
●グルノーブル大学連合
●ストラスブール大学
●ピエール・マリ・キュリー大学
●パリ国立高等化学学院
●ボルドー大学
●エックス・マルセイユ大学
★リール政治学院

【ポルトガル】
★リスボン新大学

【スペイン】
●バリャドリード大学
●マドリッドアウトノマ大学
★サンティアゴ・デ・コンポステラ大学

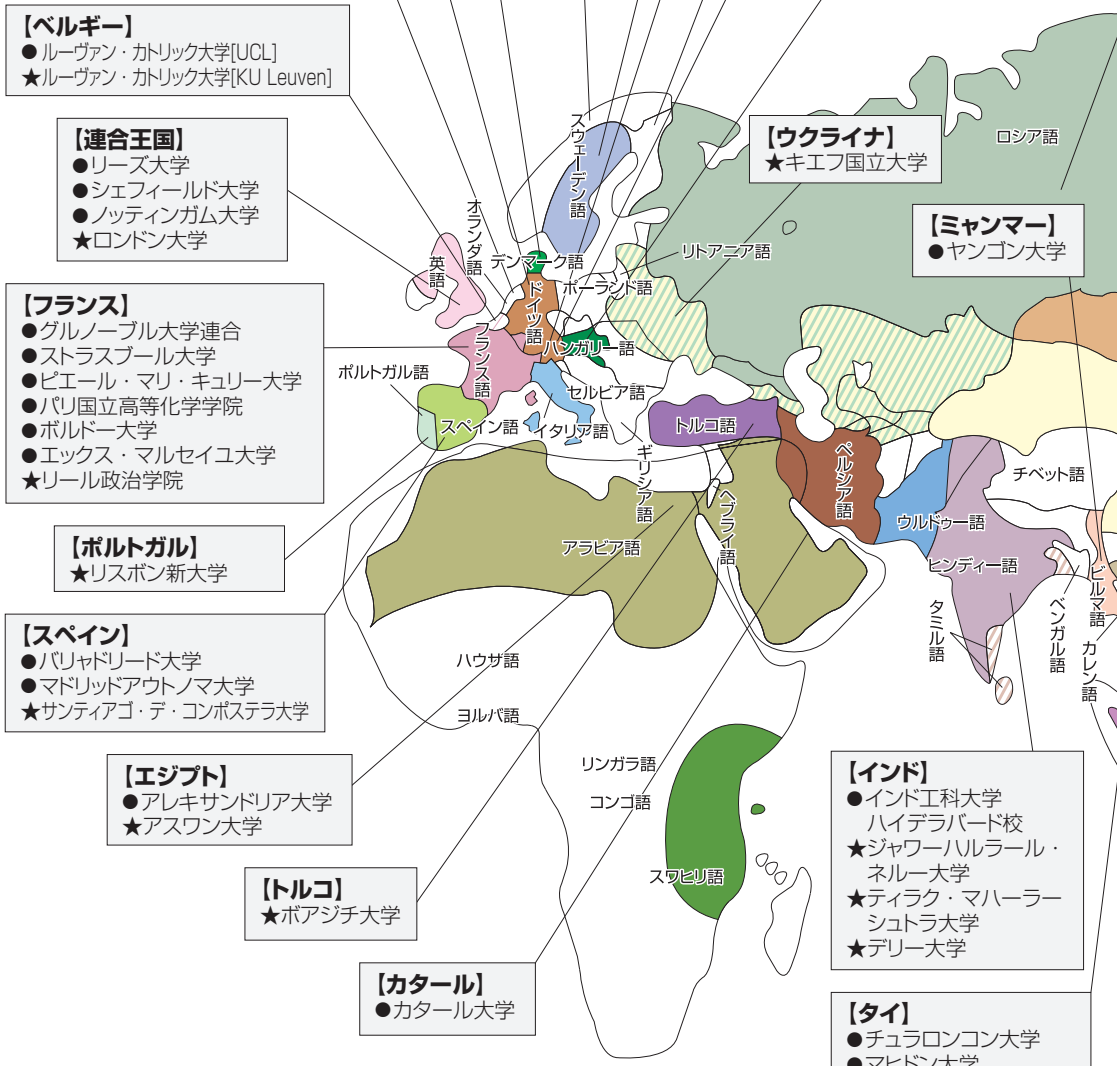
【エジプト】
●アレキサンドリア大学
★アスワン大学

【トルコ】
★ボアジチ大学

【カタール】
●カタール大学

【インド】
●インド工科大学ハイデラバード校
★ジャワーハルラール・ネルー大学
★ティラク・マハーラーシュトラ大学
★デリー大学

【タイ】
●チュラロンコン大学
●マヒドン大学
●カセサート大学
●モンクット王トンブリ工科大学
●チェンマイ大学
●タマサート大学
★コーンケーン大学
★シラパコーン大学
★ランシット大学



大阪大学外国語学部で学ぶことのできる言語

- 日本語
- 中国語
- 朝鮮語
- モンゴル語
- インドネシア語
- フィリピン語
- タイ語
- ベトナム語
- ビルマ語
- ヒンディー語
- ウルドゥー語
- アラビア語
- ペルシア語
- トルコ語
- スワヒリ語
- ロシア語
- ハンガリー語
- デンマーク語
- スウェーデン語
- ドイツ語
- 英語
- フランス語
- イタリア語
- スペイン語
- ポルトガル語

上記言語のほか、研究外国語として以下の言語を学ぶことができます。

広東語、アイヌ語、ウィグル語、古典チベット語、カレン語、現代チベット語、オセアニア諸語、モン＝クメール諸語、シャン語、サンスクリット語、パーリ語、ベンガル語、アラム語、シリア語、カザフ語、ポーランド語、古代教会スラブ語、ウクライナ語、チェコ語、リトアニア語、オランダ語、ガリシア語、バスク語、カタルニア語、ラテン語、エスペラント語、満洲語、ヘブライ語、ハウサ語、ヨルバ語、リンガラ語、コンゴ語、ソクド語

海外留学について

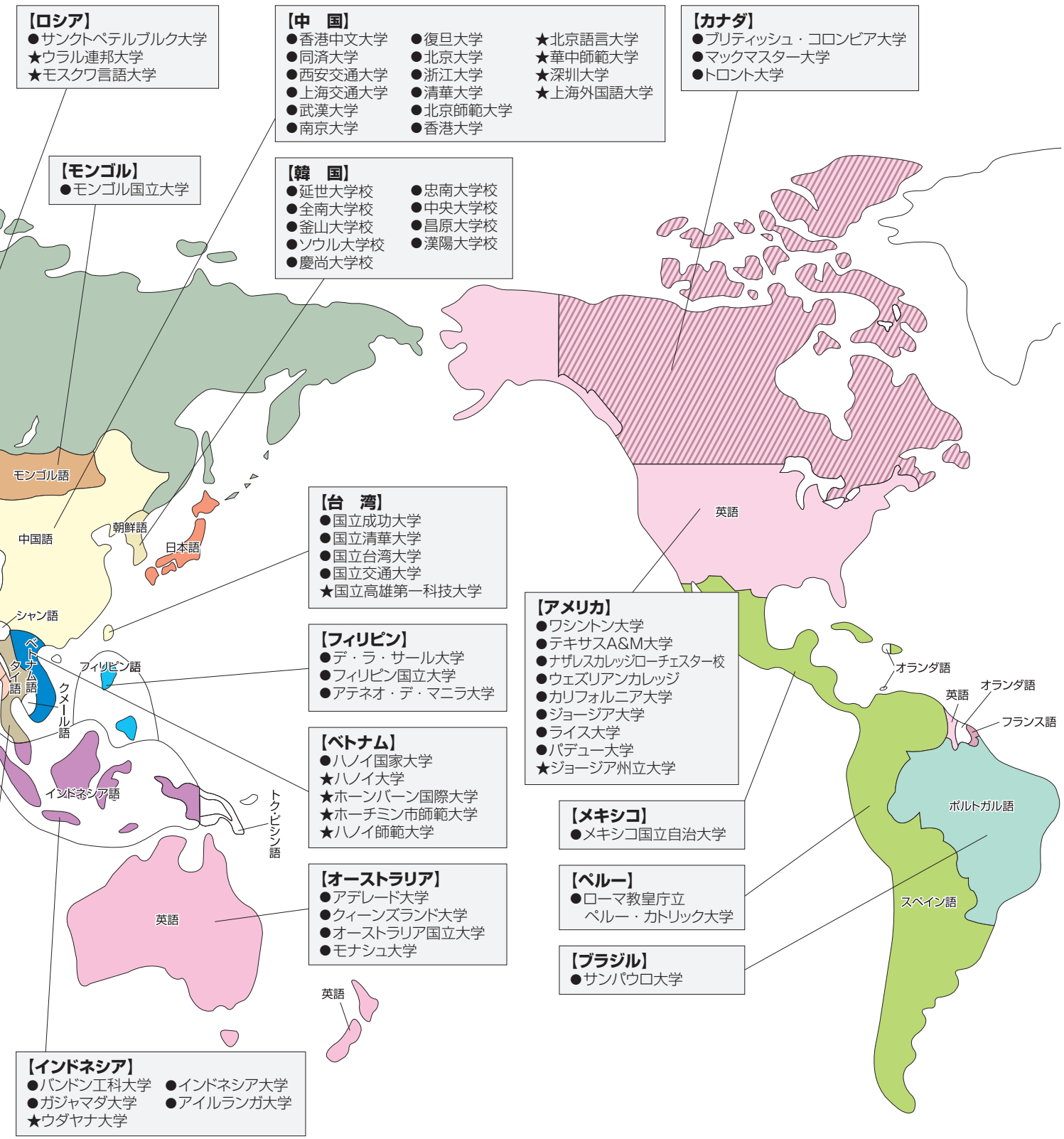
短期交換留学以外には次の方法などがあります。

●外国政府等の奨学金による留学／その他財団等の奨学金留学

毎年、約30カ国の政府または政府機関、及び民間団体が奨学金留学生を募集しています。大学に募集通知のあるものについては、その都度掲示します。それ以外の募集については、専攻の教員等に相談してみるとよいでしょう。

●私費による留学

自己負担で希望の大学に留学します。留学先の大学情報等については、自ら十分調査しておくことが必要です。また、専攻の教員、先輩にも相談してみるとよいでしょう。



卒業生からのメッセージ

日産自動車株式会社　野口 紗也加（2016年3月卒業 ポルトガル語専攻）

私は、1年間の留学を含め合計5年間大学に通いました。私がポルトガル語を選んだきっかけは、高校時代に短期留学をしたオーストラリアでの、日系ブラジル人との出会いでした。明るくて陽気なラテン系のノリに惹かれると同時に、日本人と変わらない外見をしている彼女を見て、「どうして地球の反対側にあるブラジルで、日系社会が発展しているのだろう」と興味を持ちました。

ポルトガル語を学ぶにつれて、ポルトガル語特有の繊細で可愛らしい発音が好きになり、またブラジルの音楽や文化、日系移民の歴史に更に関心を抱くようになりました。こうして、迷わず留学の道を選択しました。

ブラジルでの日々は、私にとって最大の財産です。「ブラジルの人になりきる」という意気込みで留学に挑み、現地の人向けの日本語の授業や興味のあった文学の授業に足を運んだり、15人のブラジルの方とシェアハウスをしたりと、新たなことに積極的に挑戦しました。言語が伸び悩んだ時期や異文化に戸惑った時も、周囲にいたブラジルの友人や先生のおかげでなんとか乗り越えることができました。

「私を支えてくれたブラジルの方たちに恩返しがしたい」という思いを胸に、現在は自動車メーカーで、工場の運営を担う生産管理の業務を担当しています。いつかブラジルに新工場を建て、現地の人と共に仕事ができる日が来ることを夢見ながら日々の仕事に励んでいます。

私はブラジルが大好きです。これほどブラジルに没頭するとは、高校生の頃は想像もしていませんでした。今パンフレットをご覧になっている皆さんにも、もしかすると素敵な出会いがあるかもしれません。外国語学部にはその可能性が十分に秘められていると思います。皆さんが魅力的な言語と出会い、有意義な大学生活を送ることができるよう、心から応援しています。

住友商事株式会社　韓（ハン） 炫俊（ヒョンジュン）（2016年3月卒業 アラビア語専攻）

私がアラビア語専攻を選んだのは、はっきりとした理由があったわけではありませんでした。大学で勉強するからには、他の人が経験できないような大学生活を送ってみたい、という漠然とした好奇心でアラビア語専攻の門を叩いたことを覚えています。

そうして入学した大学でしたが、大学での生活は想像していたよりもはるかに楽しいものでした。日本でそう何人も話すことのできないアラビア語を学んだり、アラブ人と仲良くなったり。時には難しいアラビア語に四苦八苦しながらも、同じ言語を学ぶ友人たちと苦楽を共にして親睦を深めあったり…。アラビア語を勉強すればするほど、受ける刺激というものは大きくなっていきました。

一生懸命アラビア語を勉強していくうちに、次第にアラビア語への愛着が湧いてきて、ついにはエジプトのカイロ大学への留学を果たしたとき、ふとこう思ったことがあります。「俺、大学に入って変わったな。」と。実際私が高校生だった時には、外国に留学することになるなんて、ましてやアラビア語を勉強することになるなんて夢想だにしていませんでした。たまたま好奇心で選んだアラビア語を一生懸命勉強しているうちに、自分の人生観が変わったことをその時つくづく実感したものです。

大学で特別な経験がしてみたい人、濃い大学生活を送ってみたい人、是非外国語学部の門を叩いてみてください。そして、自分が選んだ言語を大切にして、一生懸命勉強してみてください。きっとその言語があなたの人生観を変えてくれると思いますし、外国語学部にはあなたの人生観を変えるだけの、ユニークな環境があると思います。皆様が素晴らしい大学生活を送れるよう、応援しています。

グーグル株式会社　松本 亜依（2016年3月卒業 英語専攻）

初めまして！皆さんは、ご自身の進路について迷われている頃でしょうか。僭越ながら私から言えることは1つ、楽しいと思えることを信頼できる仲間と追求して、幸せに生きてください。

私は一年間浪人して、自己のプライドから、当時文系で最も偏差値が高い本学の英語専攻を選択しました。晴れて英語専攻に合格して入学を決めましたが、何かやりたいことがあったわけではなく、入学してから漫然と過ごしていました。また、当時の私は、受験時代に色々と困難を経験して生きる希望を見失い、何をしても楽しいと感じられなくなっていました。そんな中、自分を救ってくれたものは、アメリカ演劇ゼミ、海外留学、就職活動と色々イベントがある中で、そこで出会った人々、特に同じ専攻語の仲間でした。幸いにも、私のクラスメイトは尊敬できる優しい人ばかりで、学生生活を支え合いました。彼らと過ごすうちに、また何かに挑戦したいという気持ちが湧いてきました。その際、再び進路選択として就職活動があり、「今回は見栄や損得ではなく自分の価値観を大切にして進路を選ぼう」と決意しました。

結果として、志望する会社からオファーをもらい、入社を決意しました。そこでは、尊敬できる人々に出会うことができただけでなく、自分が楽しいと思えることを大切にして働くことが出来ています。このような機会を掴むことが出来たのは、学部の友人たちのおかげであり、心から感謝しています。大学時代に彼らに出会えたことこそ、本学に想う誇りです。皆さんの選択先でも、そのような出会いがあることを心より願っています。

最後に月並みですが、人生の選択に正解はありません。皆さんがどんな道を歩むことになろうと、希望を捨てずに、選んだ道を正解にしてください。もし疲れてしまったら、OGとしてお話を聞かせてください。一緒にワクワクする未来を考えましょう。

外務省

中村 ゆりあ（2016年3月卒業 ロシア語専攻）

皆さんこんにちは。私は幼い頃からクラシックバレエを習っていました。バレエといえば、ロシア。外国語を学ぶのは好きだし、ロシア語にしよう！そんなこんなで高校3年生のときにロシア語専攻を受験しようと思い、前期試験、後期試験ともにロシア語専攻に出願しました。しかし、第一次選抜でいわゆる足きりに合い、阪大の地で二次試験を受験することもかなわず、涙を流しながら1年目の大学受験を終えました。このままあきらめきれないと思い、懸命に勉強して、2年目は何とかロシア語専攻に合格することができました。その時に、支えてくれた周りの人たち皆へ恩返しするために、大学ではたくさん努力して、いつかは世界に貢献するんだと決心した記憶があります。

ロシア語専攻の学生になったからには、とにかくロシア語を勉強しようと思い、毎日見慣れないキリル文字と向き合いました。ロシアに関することには何でも積極的に取り組むようにしました。ロシア留学、ロシア語コンクール、ロシア語通訳、ロシア料理屋さんでのアルバイトなど、気づけばロシア要素なしの自分が考えられなくなっていました。いつからか、将来もロシア語と係わりが持てたらいいなと思うようになっていました。

そして今、憧れだった職場で働いています。学生時代と同じように、うまくできなくて悔しい思いをすることも時にはありますが、働いていてこんなに幸せを感じられるところは他にはないと思っています。私をこんな素敵な場所に導いてくれたロシア語、そしてそんなロシア語にハマるきっかけを与えてくれた大学に感謝しています。

もし、外国語に少しでも興味があるなら、私たちの外国語学部へ！きっと新たな世界が見えてくるはずです。皆さんが充実した大学生活を送ることができるよう、心からお祈りしております。

智辯学園高等学校 教諭

瀧本 葵（2016年3月卒業 イタリア語専攻）

私は高校生の時に経験したホームステイをきっかけに、いろんな言語を話せるようになりたいと思うようになり、外国語学部への入学を決意しました。

外国語学部の特徴を一つあげるとするなら、どの学生も楽しみながら言語の学習に取り組んでいることだと思います。新しく覚えた表現を日頃の会話で取り入れ、会話の授業では、なんとか自分の言いたいことを伝えようとしている周りの学生から良い刺激を受けながら、学んでいくことができました。また、多くの学生は専攻語の他にもう一つ別の言語の勉強をします。私自身もイタリア語に加え、韓国語を学んでいましたし、友人は、チェコ語やエスペラント語などの珍しい言語を学んでいました。

学部生の大半が留学をする中、私は留学をしませんでした。しかし、国内にいながらでも、海外留学をしているかのような体験をすることができました。というのも、キャンパス内には留学生が大勢いて、彼らと交流する機会が多くあったからです。彼らと食事を共にしたり、話をしたりする中で、文化の違いや考え方の違いなどを身をもって体験することができ、視野を広げることもできました。

私は4月から、智辯学園高等学校で英語の教員として働いています。自分が大学時代に感じた外国語を学ぶ楽しさを、生徒に伝えたいと思っているのですが、まだまだ伝えきれていません。生徒が英語を学ぶ楽しさを知り、自分から英語の勉強がしたいと思ってくれるような授業ができるように、日々奮闘しています。

今このパンフレットをご覧になっているみなさんに、少しでも外国語学部に興味を持っていただけると嬉しいです。みなさんの大学生活が、実りのあるものとなることを心から願っています。

大阪大学大学院

松浦 幸祐（2016年3月卒業 日本語専攻）

「日本人が日本語を専攻する」なんて、奇妙なことのように思えるかもしれません。読めるし、書けるし、意味がわかる。会話だってできます。そんな「日常あたりまえに使っているもの」について、姿勢を正して考えてみるなんて、なんだか変なことのようですね。でも、例えば「犬が走る」と「急行列車が走る」と「高速道路が走る」の「走る」は、それぞれ何が同じで何が違うのでしょう。「黒板を消す」という表現は、どのように理解されているのでしょう。日頃使っている言葉のはずなのに、立ち止まって考えてみると、説明に困ることばかりです。

今、「むむ、これは面白そうな話だぞ！」と思ったあなた、外国語学部日本語専攻をおすすめします。大学では、このように、自分が「面白い」と思ったことについて、いくらでも打ち込むことができます。それはある国の音楽であったり、政治であったり、今のような言葉の話かもしれません。自分が「面白い」と感じることであれば、打ち込むことは何だっていいのです。外国語学部の場合、打ち込む場所は日本とは限りません。実際に私の友達の中には、留学に行ったり、外国人に現地で日本語を教える仕事をしに行ったりする人もいます。

私は大阪大学外国語学部を卒業し、今も阪大の大学院で日本語の研究をしています。毎日毎日面白いことと向き合い、自分の知的好奇心が満たされる喜びを感じています。そんな日々を過ごすきっかけになったのも、「言葉って、日本語って、面白い。」と感じた、高校時代のある日の小さな気持ちです。その小さな気持ちと向き合っていたら、今の自分にたどり着きました。

自分が好きだと思ったことに真正面から向き合い、本気で考える。何だかとっても素敵なことだと思いませんか。

箕面キャンパス

施設・設備案内

❶ A棟（左写真の右および右写真）

学生生活をサポートする機能の中枢。

１階には言語文化研究科・外国語学部箕面事務室（学務係・教務係・学生支援係）、箕面学生センター、なんでも相談室があります。在学生に対して多様な情報を提供しています。

学務係・教務係・学生支援係 窓口（A棟）

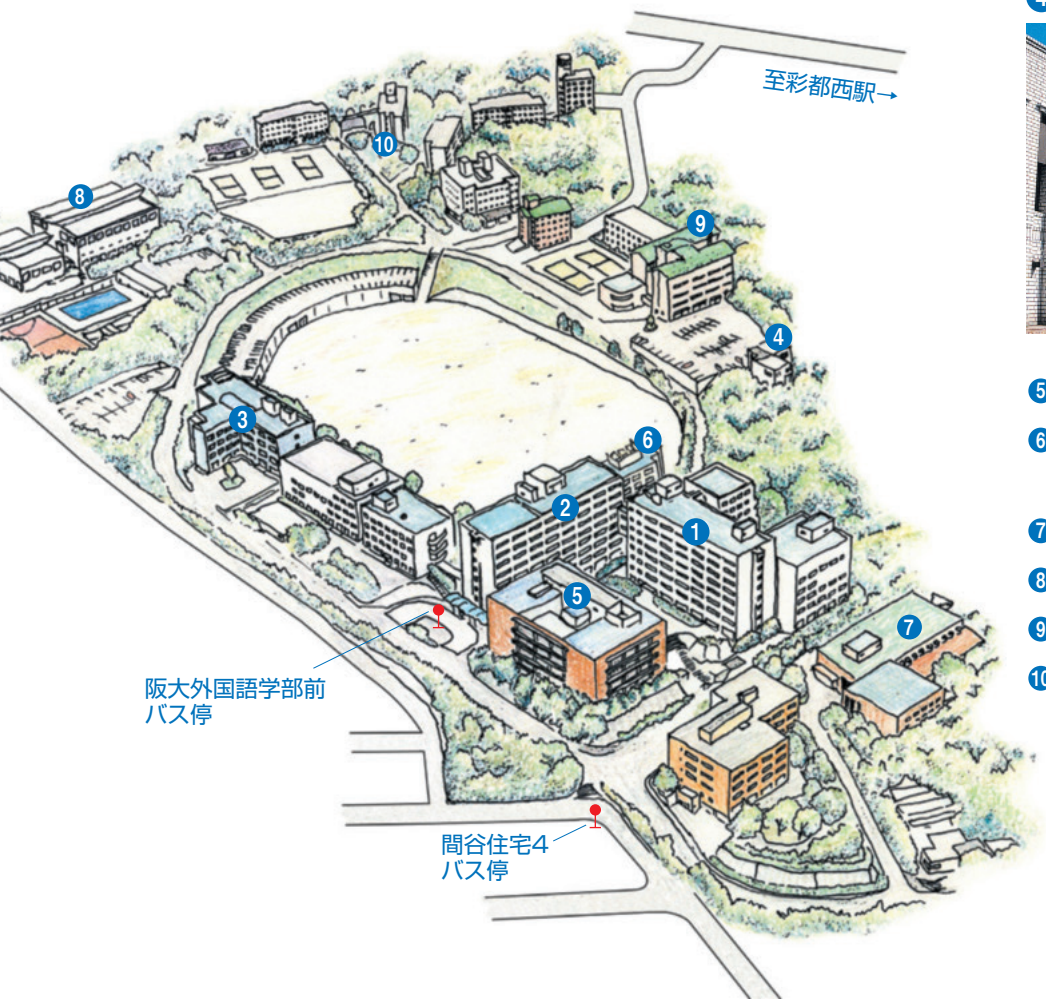
❷ B棟（写真・中央）

１階にある学生談話室は、自習や食事をしたり、各々の時間を気ままに過ごすことができる自由な空間です。２階には、外国語学部箕面事務室（庶務係・研究協力係・経理係・契約係）があります。

❸ E棟

開放的な空間デザインになっています。

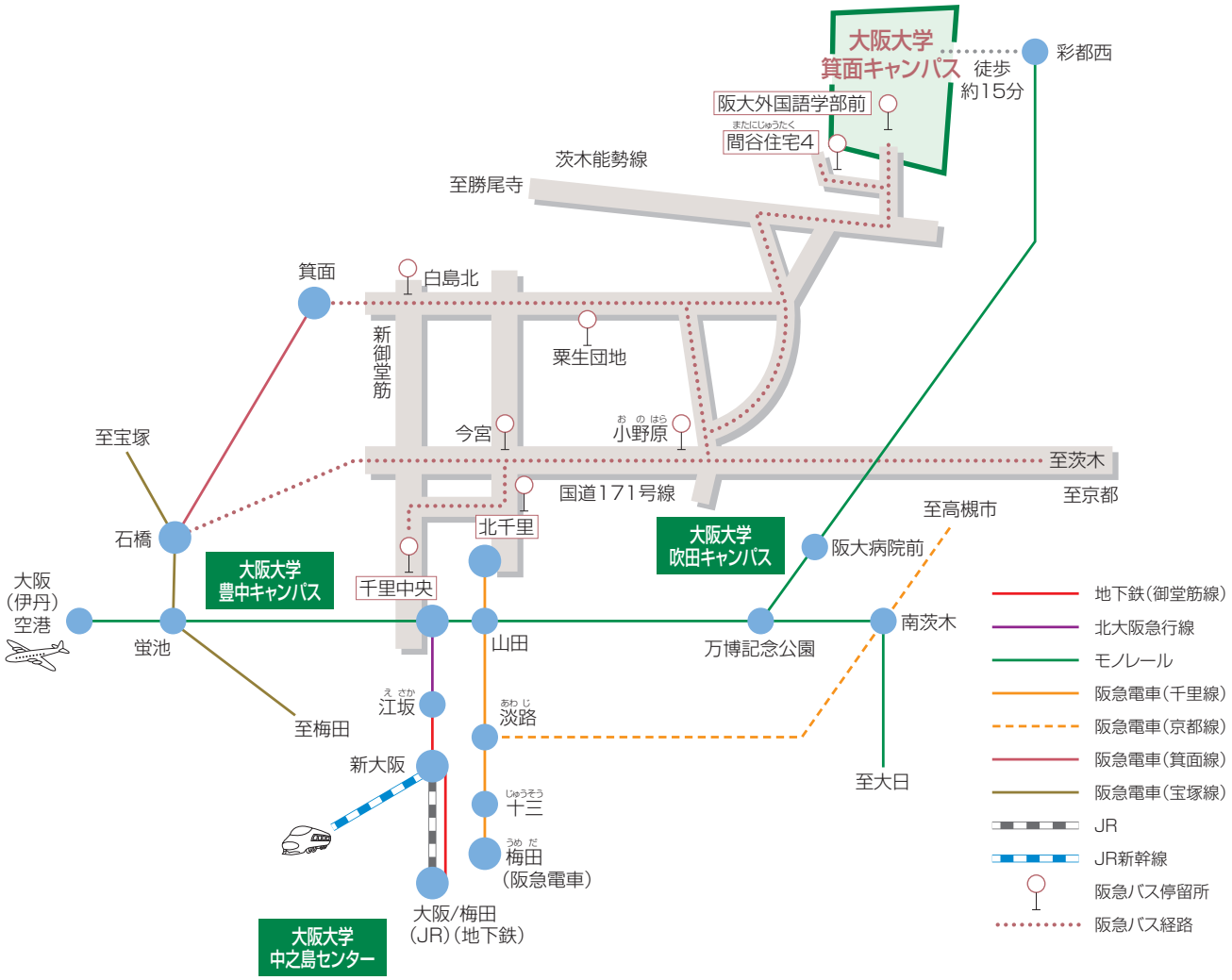
❹ 大阪外国語大学記念会館



❺ 附属図書館　外国学図書館
❻ サイバーメディアセンター
　総合研究棟
❼ 箕面福利会館
❽ 箕面第１・第２体育館
❾ 日本語日本文化教育センター棟
❿ 学寮　等

箕面キャンパス

所在地経路図



最寄り駅から箕面キャンパスまでの経路

○北大阪急行線「千里中央駅」
○大阪モノレール「千里中央駅」
千里中央
(「千里中央」発のバスは「北千里」を経由します。)

10分

○阪急電鉄(千里線)「北千里駅」
北千里

10分

小野原

15分
阪大外国語学部前

15分
間谷住宅4

○JR(東海道線)「茨木駅」
JR茨木
「阪急石橋」行乗車　25分
(「小野原」でバス乗換え)

○阪急電鉄(宝塚線)「石橋駅」
阪急石橋
「JR茨木」行乗車　25分
(「小野原」でバス乗換え)

○阪急電鉄(箕面線)「箕面駅」
箕　面
25分(運行便数は非常に少ないので注意:1時間1便程度)
間谷住宅4

●大阪モノレール利用の場合

大阪大学 箕面キャンパス
徒歩 約15分
彩都西
6分
阪大病院前
5分
万博記念公園
6分
南茨木
(阪急京都線 連絡)

万博記念公園
3分
山　田
(阪急千里線 連絡)

山　田
2分
千里中央
(北大阪急行線 連絡)

千里中央
10分
蛍　池
(阪急宝塚線 連絡)

蛍　池
3分
大阪空港

(※注意)
大阪大学の休業日(土・日・祝・春期／夏期／冬期休業期間)は、「阪大外国語学部前」行きのバス(――線)は運休しますので、「間谷住宅(またにじゅうたく)」行きのバス(－－－線)をご利用ください。

●学生専用便を運行
外国語学部の授業期間中は、1限から5限の授業時間に合わせて、JR茨木駅、阪急箕面駅から学生専用便を運行しています。
乗車時間は、およそ20分～30分です。

凡　例
□ ：阪急バス停留所名
―― ：阪急バス「阪大外国語学部前」行き※
－－－ ：阪急バス「間谷住宅(またにじゅうたく)」行き※
―― ：大阪モノレール
□ ：大阪モノレール駅

大阪大学　外国語学部

大阪大学　外国语学院

오사카대학 외국어학부

ОСАКАГИЙН ИХ СУРГУУЛИЙН ГАДААД ХЭЛНИЙ САЛБАР

FAKULTAS KAJIAN ASING UNIVERSITAS OSAKA

คณะภาษาต่างประเทศ มหาวิทยาลัยโอซากา

KHOA NGOẠI NGỮ, TRƯỜNG ĐẠI HỌC QUỐC GIA OSAKA

ओसाका विश्वविद्यालय विदेशी भाषा संकाय

شعبۂ زبانہائے خارجہ، جامعہ اوساکا

كلية الدراسات الأجنبية جامعة أوساكا

دانشکده مطالعات خارجی دانشگاه اوساکا

OSAKA ÜNİVERSİTESİ YABANCI DİLLER FAKÜLTESİ

CHUO KIKUU CHA OSAKA KITIVO CHA MASOMO YA KIGENI

ФАКУЛЬТЕТ ИНОСТРАННЫХ ЯЗЫКОВ УНИВЕРСИТЕТА ОСАКА

OSZAKAI EGYETEM IDEGENNYELVI KARA

SCHOOL OF FOREIGN STUDIES, OSAKA UNIVERSITET

SCHOOL OF FOREIGN STUDIES, OSAKA UNIVERSITET

FAKULTÄT FÜR FREMDSPRACHEN AN DER UNIVERSITÄT OSAKA

SCHOOL OF FOREIGN STUDIES, OSAKA UNIVERSITY

FACULTÉ DES LANGUES ÉTRANGÈRES DE L'UNIVERSITÉ D' OSAKA

FACOLTÀ DI LINGUE STRANIERE DELL'UNIVERSITÀ DI OSAKA

FACULTAD DE ESTUDIOS EXTRANJEROS, UNIVERSIDAD DE OSAKA

FACULDADE DE ESTUDOS ESTRANGEIROS, UNIVERSIDADE DE OSAKA

大阪大学 外国語学部　〒562-8558 箕面市粟生間谷東8丁目1番1号　電話（072）730-5069

http://www.sfs.osaka-u.ac.jp/

平成28年7月作成